

南信森林管理署庁舎外部建具改修工事

[illegible]

4-1

外壁改修工事

共通事項

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等

曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	接着強さ (N/mm2)		
6.0以上	20.0以上	標準時	湿潤時	低温時
		1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態
だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性
裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (72時間)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上

保水係数 0.35～0.55
粘調係数 0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強さ(N/mm2)	界面破壊率(%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-2

外壁改修工事

コンクリート打放し仕上げ外壁

1. ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・

注入材料
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)
・
検査 (コア抜取り) ※行わない
・行う (抜取り部の補修方法:)

・ウカットシール材充てん工法

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1 成形成又は2 成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない 行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	

※充てん工法

シール材料	品質・規格等
・エポキシ樹脂モルタル	
・ポリマーセメントモルタル	

2. 欠損部改修工法

4-3

外壁改修工事

モルタル塗り仕上げ外壁

1. 既存モルタル塗りの撤去

2. ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による)
※樹脂注入工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・

注入材料
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)
・
検査 (コア抜取り) ※行わない
・行う (抜取り部の補修方法:)

・ウカットシール材充てん工法

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1 成形成又は2 成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない 行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 (※シール工法の範囲)

3. 欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部

改修工法の種類	材 料	品質・規格等
・充てん工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替工法	改修標仕4.2.2(g)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

既製目地材 ・適用する (形状 ※図示)

4. 浮き部改修工法

・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲
撤去範囲 ※下地モルタルまで ・タイルのみ

2. ひび割れ部改修工法

改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)
※樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・

注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査 (コア抜取り) ※行わない 行う (抜取り部の補修方法:)

・ウカットシール材充てん工法 (既存タイル張り撤去面)

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1 成形成又は2 成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない 行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・タイル部分張替え工法

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・変成シリコン樹脂	
・エポキシ樹脂	
・ポリウレタン樹脂	
・シリコン樹脂	
・タイル部分張替え工法用接着剤	

「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であって監督職員の承認するもの又は特記による。

・タイル張替え工法

伸縮目地調整及びひび割れ誘発目地位置	※改修標仕表4.5.1による	・図示
--------------------	----------------	-----

4. 浮き部改修工法

改修工法の種類	アカビンの本数 (本/m)	注入口の箇所数 (箇所/m)	充てん量		
(タイルを撤去しない場合)	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン
材質 ※スチルスUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピン
材質 ※スチルスUS304、呼び径外径6mm
・
タイルの種類

主な用途による区分	形状寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の	耐凍害性	備考				
施工箇所 (mm)	I 類	II 類	III 類	施す	やう	あり	なし	標準	特注	適用	あり	なし
	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

役物: 標準的な曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き ※行わない 行う
壁タイル張りの工法

外装タイル	・密着張り	・マスク張り
タイルの試験張り	※行わない	・行う

6. 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法

・伸縮目地改修工法	シーリング用材料	種類	※改修標仕表3.7.1による
-----------	----------	----	----------------

4-5

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

1. 既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法

工 法	処 理 範 囲	下 地 面 の 補 修
・サンダー工法	※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	4-1又は4-3による
※高圧水洗工法	※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の劣化部とする)	
加圧力	※30MPa程度以上	
・塗膜はく離削工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

※下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル (※C-1 ・C-2)
・防水形仕上げ塗材主材を使用

2. 下地調整材

3. 仕上げ塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法

種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i ・可とう形外装薄塗材 S i ・外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E ・防水形外装薄塗材 E ・外装薄塗材 S	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
・複層仕上塗材	・複層塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E ・防水形複層塗材 R S	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
・可とう系改修用仕上塗材	・可とう系改修塗材 E ・可とう系改修塗材 R E ・可とう系改修塗材 C E	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

5

1. 改修工法の適用

建具の種類

建具の種類	かたせ工法	撤去工法	適用箇所
○アルミニウム製建具	○	・	※建具表による ・図示
・鋼製建具	・外部	・	※建具表による ・図示
・鋼製軽量建具	・内部	・	※建具表による ・図示
・ステンレス製建具	・	・	※建具表による ・図示

・特殊な建具の仮組 (建具番号:)

・適用する ()

4. アルミニウム製建具

外部に面する建具

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
・B種	S-5	・	・		
・C種	S-6	A-4	W-5	100	

防音ドアセット ・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 ()
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 ()
断熱ドアセット ・断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 ()
表面処理 ※B-1 ・B-2 (※7 フォス ・ブラク ・スチット)

屋内建具

表面処理 ※C-1 又は B-1
・C-2 又は B-2 (※7 フォス ・ブラク ・スチット)

防虫網

網の種類 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316)
形 式 ※外部可動式 ・固定式

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

耐風圧性の適用は建具表による

特定防火設備の戸 ・適用する

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

耐風圧性の適用は建具表による

施工箇所

鋼材の種類	鋼材の種類
屋 外	※SUS304 又は SUS430JIL
屋 内	※SUS430 ・SUS304 又は SUS430JIL

表面仕上げ ※H 仕上げ ・鏡面仕上げ (5.5.4)
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (補強有り) (5.5.5)
特定防火設備の戸 ・適用する (表5.5.1)

※製造所標準製作規定寸法許容差による (5.7.2) (5.7.3) (表5.7.1～表5.7.3)

5. 陶磁器質タイル張り

タイルの種類	主な用途による区分	形状寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の	耐凍害性	備考			
施工箇所 (mm)	I 類	II 類	III 類	施す	やう	あり	なし	標準	特注	適用	あり	なし
	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

役物: 標準的な曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き ※行わない 行う
壁タイル張りの工法

外装タイル	・密着張り	・マスク張り
タイルの試験張り	※行わない	・行う

6. 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法

・伸縮目地改修工法	シーリング用材料	種類	※改修標仕表3.7.1による
-----------	----------	----	----------------

12. 建具用金物

トイレプス

マスターキー ・製作する ○製作しない (5.6.4)
建具用金物 (5.6.2) (5.6.3) (表5.6.1) (表5.6.2)
錠前類は、シリンドー錠錠 (レバーハンドル) とする
なお、錠前類は建具製作所の指定のものとし、監督職員の承認を受ける
吊金物
・下番 (内部建具については、軸を嵌めとしてもよい) ・ピボットヒンジ

13. ガラス

※建具表による (5.12.2)
・ガラスブロック積み (※図示)
ガラスブロック 品質 JIS A 5212によるもの (5.12.5)

寸 法 (mm)	色 調	パターン	防火認定
※クリア	・熱線反射		※無し
・乳白	・カラー ()		・有り

14. ガラス留め材及び溝

ガラス留め材 (5.12.2) (表5.12.1)

建 具 の 種 類	材 質
アルミニウム製	※シーリング材 ・ ガスケット (F I X 部はシーリング材)
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする (5.12.3)
板ガラスをはめ込む溝の大きさ
改修標仕5.12.13以下のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける

15. ガラス用フィルム

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D 1

品質 JIS A 5759による

16. 重量シャッター

(5.9.2) (表5.9.1)

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能 () N/m2
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能 () N/m2
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

閉閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式
危害防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式 (5.9.2)
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (5.9.2)

17. 軽量シャッター

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) (5.10.2) (表5.10.1)
・塗装溶融重鉛-5%Zn合金めっき鋼板及び鋼帯
スラット 材質 ※塗装溶融重鉛めっき鋼板 ・塗装溶融重鉛-5%Zn合金めっき鋼板及び鋼帯 (5.10.3)
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (5.10.4)
ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm) (表5.10.2)
耐風圧性能 () N/m2

18. オーバーヘッドドア

(5.11.2～5.11.4) (表5.11.1) (表5.11.2)

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バラン式	・スタンダード形	・溶融重鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板 (SUS304)
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイルド形	・バーカル形

耐風圧性能 () N/m2

19. かざ箱

市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用

6

内装改修工事

1. 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 (6.1.3)
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 (6.1.3)
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 (6.1.3)
※既存のまま ・図示の範囲

2. 既存床の撤去並びに下地補修

ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも) (6.2.2)
・下地モルタルとも (※図示の範囲 ・除去範囲全て)

合成樹脂塗塗り床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫工法 (6.2.2)
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

3. 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 (6.3.2) (4.4.9)
※図示 ・モルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない)

4. 木下地等

木材の品質 ※改修標仕6.5.2による ・市販品 (6.5.2) (表6.5.2) (表6.5.3)
間伐材等 ・使用する (使用箇所) 間伐材等: 間伐材、林地残材又は小径木の体積比割合が (6.5.2) (表6.5.4)
現場搬入時の木材の含水率 ※A種 ・B種
樹種 ※改修標仕表6.5.4による ・代用樹種を適用しない箇所 () (6.5.2)

5. 集成材等

種 別	施工箇所	強度等級・材面の品質性能 使用環境・樹種名・規格等	間伐材等の適用
・構造用集成材	※図示		・
・構造用短繊維層材	※図示		・
○造作用集成材	※図示		・
・化粧張り造作用集成材	※図示		・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種
間伐材等: 間伐材、合板、製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。

6. 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難燃発性のものとする。 (6.5.2)
※本工事に使用する接着剤
エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂、アクリル樹脂又はエポキシ樹脂系防腐剤 (以下「エポキシ樹脂等」という。
) を用いた接着剤の単位面積当たりの放散量 ※規制対象外 ・第三種
※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 (6.5.2) (6.14.2)
壁紙施工用でん粉系接着剤、エポキシ樹脂等を用いた接着剤の単位面積当たりの放散量
※規制対象外 ・第三種

訂正

工事名

南信森林管理署庁舎外部建具改修工事

株式会社 久高設計

長野県上田市住吉55-2
1級建築士事務所 長野県知事登録 (上田) M-28311号
1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印
本 社 TEL 0268-22-8700 (代) FAX 0268-27-5382
佐久営業所 TEL 0267-67-2987 (代) FAX 0267-68-0660

検 印

設 計

月 日

2021.12.16

縮 尺

整理番号

21-020

図面番号

A

2

図 名

特記仕様書 2

内装改修工事	7. 防腐・防蟻処理	防腐処理 ※行う (※図示 ・) (6. 5. 2) 防蟻処理 ※行う (※図示 ・) 種類、品質 ※表面処理用木材保存 (防腐、防蟻) 剤は、監督職員の承諾するものとする ※クロリピリホスを含むものを添加しないこと。	8. 床板張り用合板及びその他の合板	(表6. 5. 11)	種 別	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表板の樹種名・品質等級・性能等	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用																	
	9. 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 (6. 6. 2) (表6. 6. 1) 屋外 (・ 19形 ※25形) 屋内 (※19形 ・ 25形) 既存の埋込インサート ・ 使用する ・ 使用しない (6. 6. 3) (6. 6. 4) あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う ・ 行わない (6. 6. 4) ※天井ふところ1. 5m以上の場合は吊りボルトの補強を行う ※天井ふところ3. 0mを超える場合の補強 ※図示 耐震性を考慮した補強 ※図示 屋外軒天井及びビロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ※図示	10. 軽量鉄骨壁下地	スタッドの高さが5 mを超える場合 ※図示 ・ (6. 7. 3) (表6. 7. 1)	11. 床用塗料塗り	材料 ウレタン樹脂系塗料 (※標準色 ・) 仕上種類 ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ 塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0. 5kg/㎡以上とする	12. 防塵用塗料塗り	材料 水性アクリル系塗料 (※標準色 ・) 仕上種類 ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ 塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0. 5kg/㎡以上とする	13. ビニル床シート張り	(6. 8. 2)	種 類	JISの記号	色 柄	厚さ (mm)															
	14. ビニル床タイル張り	(6. 8. 2)	種 類	JISの記号	厚さ (mm)	備 考	※コンポジションビニル床タイル (半硬質) C T ※2 ・ コンポジションビニル床タイル (軟質) C T S ・ ・ ホモジニアスビニル床タイル H T ・	15. 帯電防止床タイル張り	(6. 8. 2)	種 類	厚さ (mm)	性 能	・ コンポジションビニル床タイル ※2 ・ 体積抵抗値 (JIS K 6911による) 1. 0×10 ⁹ Ω以下、または、 ・ ホモジニアスビニル床タイル ※4. 0又は4. 5 ・ ・ 漏えい抵抗値 (JIS A 1454による) ×10 ¹⁰ Ω未満 ・ ・	16. 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)	ブロックパターンはJIS T 9251による 色彩は黄色を原則とする 屋 内 ※塩化ビニル製 ・ 磁器又はせっ器質タイル (※300 ・) ・ レジコンクリート製 屋 外 ※レジコンクリート製 ・ 磁器又はせっ器質タイル (※300 ・)	17. ビニル幅木	高さ (mm) ・ 60 ・ 75 ・ 100 ※ 図示 (6. 8. 2)	18. 合成樹脂塗床	(6. 10. 3) (表6. 10. 3～表6. 10. 7)	種 別	仕 上 げ の 種 類	・ 弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流し膜べ仕上げ ・ 厚膜流し膜べ仕上げ (※平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (※平滑 ・ 防滑) ・ 防滑仕上げ	19. フローリング張り	(6. 11. 2～6. 11. 7) (表6. 11. 1～表6. 11. 4)	種 別	材 種	工 法	仕上げ塗装等	間伐材等の適用
	20. 畳敷き	(6. 12. 2) (6. 12. 3) (表6. 12. 1)	下 地 の 種 類	畳 の 種 別	・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 (・) ・ B種 ※C種 ・ D種 (・) ・ C種 ・ D種 (・) 畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする	21. ポリスチレンフォーム床下地材	ノンフロンのもの 畳下地 厚さ (mm) ※40 ・ 65 ・ 80 (不燃) 70-リング類 厚さ (mm) ※80 ・ 95 (不燃)	22. カーペット敷き	(6. 9. 2) (6. 9. 3) (表6. 9. 1) (表6. 9. 2)	種 別	バイル形状	色 柄 等	備 考	・ A種 ・ カットバイル ・ B種 ・ ループバイル ・ C種 ・ カット、ループバイル併用 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・	23. せっこうボードその他ボード張り	24. 吸音材	(表6. 13. 1)	種 類	JISの記号	厚さ (mm)	備 考								
	25. 壁紙張り	(6. 14. 2)	施 工 箇 所	壁 紙 の 種 類	紙 繊維 (織物) (ビニル) (化学繊維)	防火性能	備 考	26. モルタル塗り材料	(6. 15. 3)	吸水調整材	全面割合 (%) 表示値±1. 0以内 30分で1g以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと	防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 (JIS A 1404)による試験) 混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水比 セメント重量 JIS R 5201の試験8)において 70%以上 95%以下 294. 0kPa/hの5%以下 始発 1時間以上 終結 10時間以内 膨張性のひび割れ及びひそりがないこと JIS R 5201の試験9) 既製目地材 ※適用しない ・ 適用する	27. 陶磁器質タイル張り	(6. 16. 3)	タイルの種類	給水率による区分 I類 II類 III類 施うぐすり 役物 色 再生材耐凍害性	施工箇所 形状寸法 (mm)	1類 2類 3類 施うぐすり 役物 有 無 標準 特注 の適用 有 無 備考	28. 断熱材	[19. 9. 2] [19. 9. 3]	種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等					
	29. 浴室天井材	30. フリーアクセスフロア	31. 可動間仕切	32. 移動間仕切	33. トイレブース	34. 階段滑止め	35. 階段手すり	36. 黒板及びホワイトボード	37. 表示	38. ブラインド	39. ロールスクリーン	40. カーテン	41. カーテンレール	42. ブラインドボックス及びカーテンボックス	43. 天井点検口	44. 床点検口	45. 鋼製書架及び物品棚	46. くつふきマット	47. 流し台ユニット	48. 屋内掲示板	49. 洗面カウンター	50. 収納家具	51. 防煙垂れ壁						
	訂正		工 事 名		検 印		設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名																	
	南信森林管理署庁舎外部建具改修工事		株式会社 久高設計		2021. 12. 16					21-020	A	3	特記仕様書 3																
	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録 (上田) M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 社 社 TEL 0268-22-8700 (代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987 (代) FAX 0267-68-0660		株式会社 久高設計		2021. 12. 16					21-020	A	3	特記仕様書 3																

7
塗装
改修
工事

1 材 料

2 下地調整

3 塗装塗り

屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※ 規制対象外
・ 第三種
[7.2.2~7][表 7.2.1~7]

下地面の種類	下地調整の種類	備 考
木部	・ R A種 ※ R B種	
鉄鋼面	・ R A種 ※ R B種	
垂鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種	
垂鉛めっき面（鋼製建具）	※ R B種 ・ R C種	
モルタル、プラスター面	・ R A種 ※ R B種	
コンクリート、A L Cパネル面	・ R A種 ※ R B種	(2-UE) 、(2-ASE) 及び (2-FUE) は除く

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修
※ 行わない ・ 行う（補修範囲及び補修方法は図示）[表 7.2.4~6]
[7.4.2~7.15.2][表7.4.1~7.15.1]

塗 装 の 種 類	塗 装 面	工 程	新 規
○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部（外部）	※ B 種 [7.4.3]	※ A 種 [7.4.3]
	木部（内部）	※ B 種 [7.4.3]	※ B 種 [7.4.3]
	鉄鋼面	※ B 種 [7.4.4]	・ A 種 ・ B種 [7.4.4]
	垂鉛めっき鋼面	※ B 種 [7.4.5]	※ B 種 [7.4.5]
	鋼製建具	※ A 種 [7.4.5]	※ B 種 [7.4.5]
・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部	[7.6.2]	
	鉄鋼面	[7.6.3]	
	垂鉛めっき鋼面	[7.6.3]	
・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	屋内のコンクリート面・モルタル面	※ B 種 [7.7.2]	※ B 種 (18.8.2)
・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 [7.8.2]	※ A 種 [7.8.2]
	上塗り ・ 1 級(ふっ素樹脂塗料) ・ 2 級(カカシオン樹脂塗料) ・ 3 級(カカシオン樹脂塗料)		
	垂鉛めっき鋼面	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 [7.8.3]	※ A 種 [7.8.3]
	上塗り ・ 1 級(ふっ素樹脂塗料) ・ 2 級(カカシオン樹脂塗料) ・ 3 級(カカシオン樹脂塗料)		
	コンクリート面	・ A-1 種 ・ A-2 種 ・ A 種 ・ B-1 種 ・ B-2 種 ・ B 種 ・ C-1 種 ・ C-2 種 ・ C 種 [7.8.4]	（18.7.4）
	押出成形セメント板面	・ A-1 種 ・ A-2 種 ・ A 種 ・ B-1 種 ・ B-2 種 ・ B 種 ・ C-1 種 ・ C-2 種 ・ C 種 [7.8.4]	（18.7.4）
・つや有り合成樹脂 エマルションペイント塗り (EP-G)	屋内木部	※ B 種 [7.9.3]	※ A 種 [7.9.3]
	屋内鉄鋼面	※ B 種 [7.9.4]	・ A 種 ・ B 種 [7.9.4]
	屋内垂鉛めっき鋼面	※ B 種 [7.9.5]	・ A 種 ・ B 種 [7.9.5]
	コンクリート面	※ B 種 [7.9.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.9.2]
	モルタル面	※ B 種 [7.9.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.9.2]
	プラスター面	※ B 種 [7.9.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.9.2]
	せっこうボード面	※ B 種 [7.9.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.9.2]
○合成樹脂エマルション ペイント塗り (EP)	塗装面	※ B 種 [7.10.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.10.2]
	コンクリート面	※ B 種 [7.10.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.10.2]
	モルタル面	※ B 種 [7.10.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.10.2]
	プラスター面	※ B 種 [7.10.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.10.2]
	せっこうボード面	※ B 種 [7.10.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.10.2]
・合成樹脂エマルション 模様塗料塗り (EP-T)	屋内コンクリート面・モルタル面 フッ素面・石膏ボード面 木部等	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 [7.11.2]	・ A 種 ・ B 種 [7.11.2]
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・ A 種 ※ B 種 [7.12.2]	・ A 種 ※ B 種 [7.12.2]
○ウリアラッカー塗り (CL)	木部	・ A 種 ※ B 種 [7.5.2]	・ A 種 ※ B 種 [7.5.2]
・オイルステイン塗り (OS)	木部	[7.13.2]	[7.13.2]
・木材保護塗料塗り (WP)	木部	・ A 種 ※ B 種 [7.14.2]	・ A 種 ※ B 種 [7.14.2]

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ※ 1 種 [7.4.2]

9
環境
配慮
改修
工事

1 アスベスト含有分析
調査

2 アスベスト粉じん
濃度測定

3 アスベスト含有
吹付け材の除去
（レベル1）

4 アスベスト含有
保温材等の除去
（レベル2）

5 アスベスト含有
成形板の除去
（レベル3）

6 外断熱改修工事

分析によるアスベスト含有建材の調査
・ 行う（下表による）
[9.1.1]

材 料 名	調査方法（1 材料あたりの試料数：3 サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示
分析対象
※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロンダイト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）
分析方法
※ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
分析結果については、監督職員に提出すること。
アスベスト粉じん濃度測定
・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）
[9.1.1]
測定箇所 ※ 図示

測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備 考
・ 測定 1		処理作業室内	各 点	—
・ 測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—
・ 測定 3		処理作業室内	各 点	—
・ 測定 4	処理作業中	出入口（ゲート）入口	各 点	空気の流れを確認
・ 測定 5		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各 点	除じん装置の性能確認
・ 測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—
・ 測定 7	処理作業後（1 日養生中）	処理作業室内	各 点	—
・ 測定 8		施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—
・ 測定 9	処理作業後 1 週間以降	処理作業室内	各 点	—
・ 測定 10		調査対象室外部の付近	計 点	—

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法—第 1 部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
測定 3 測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10 測定 5
計数機器 位相差顕微鏡
ノズル径φの直径 25 mm 47 mm
試料の吸引流量 1 l/min 5 l/min 10 l/min
試料の吸引時間 5 min 120 min 240 min
試料の透明化 アセトニートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法
計数条件 総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野
計数アスベスト 直径 3μm≧0.3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ直径比 3:1 以上
定量限界 50 f/l 0.5 f/l 0.3 f/l
報告書の作成（記録する項目）
ア、測定結果
イ、測定時間
ウ、測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）
エ、サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ、マウンティング方法
カ、顕微鏡視野面積、計数視野数
キ、測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

9 透水性アスファルト
舗装改修工事

10 PCB含有シーリング材
処分

路盤材料
※再生クラッシャーラン（RC-40）
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ（CS-40）
・クラッシャーラン（C-40）
透水性の高いものを使用する
路盤の締固め度試験 ※行わない
遮断層及び凍上抑制層の材料
・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン 切り込み砂利 ・砂
厚さは図示
盛り土に用いる材料
・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・建設汚泥から再生した処理土
[9.7.3][表9.7.1]
路床安定処理
※添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・高炉セメントB種
・生石灰（ ） ・消石灰（ ）
添加量 kg/m3（目標CBR ※5 以上 ・ ）
路床土の支持力比試験 ※行う（※乱した土 ・乱さない土）
路床締固め度の試験 ※行う
砂の粒状試験 ※行う
透水性アスファルト混合物
[9.7.6][表9.7.7]
車道部 ※ポリマー改質アスファルトⅠ型
歩道部 ※ストレータアスファルト
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う
[9.7.9]
・第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判定する
採取箇所数 計 箇所
採取箇所 ※図示
・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う
分析箇所 計 箇所
・除去処理工事
除去方法 ※図示
撤去方法 ・標準施工要領書（日本シーリング工事業共同組合連合会／日本シーリング材工業会）による

訂正

工事名

南信森林管理署庁舎外部建具改修工事

株式会社 久高設計

長野県上田市住吉55-2
1 級建築士事務所 長野県知事登録（上田）M-28311号
1 級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印
本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382
佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660

検 印

設 計

月 日

2021.12.16

縮 尺

21-020

整理番号

A

図面番号

4

図 名

特記仕様書 4

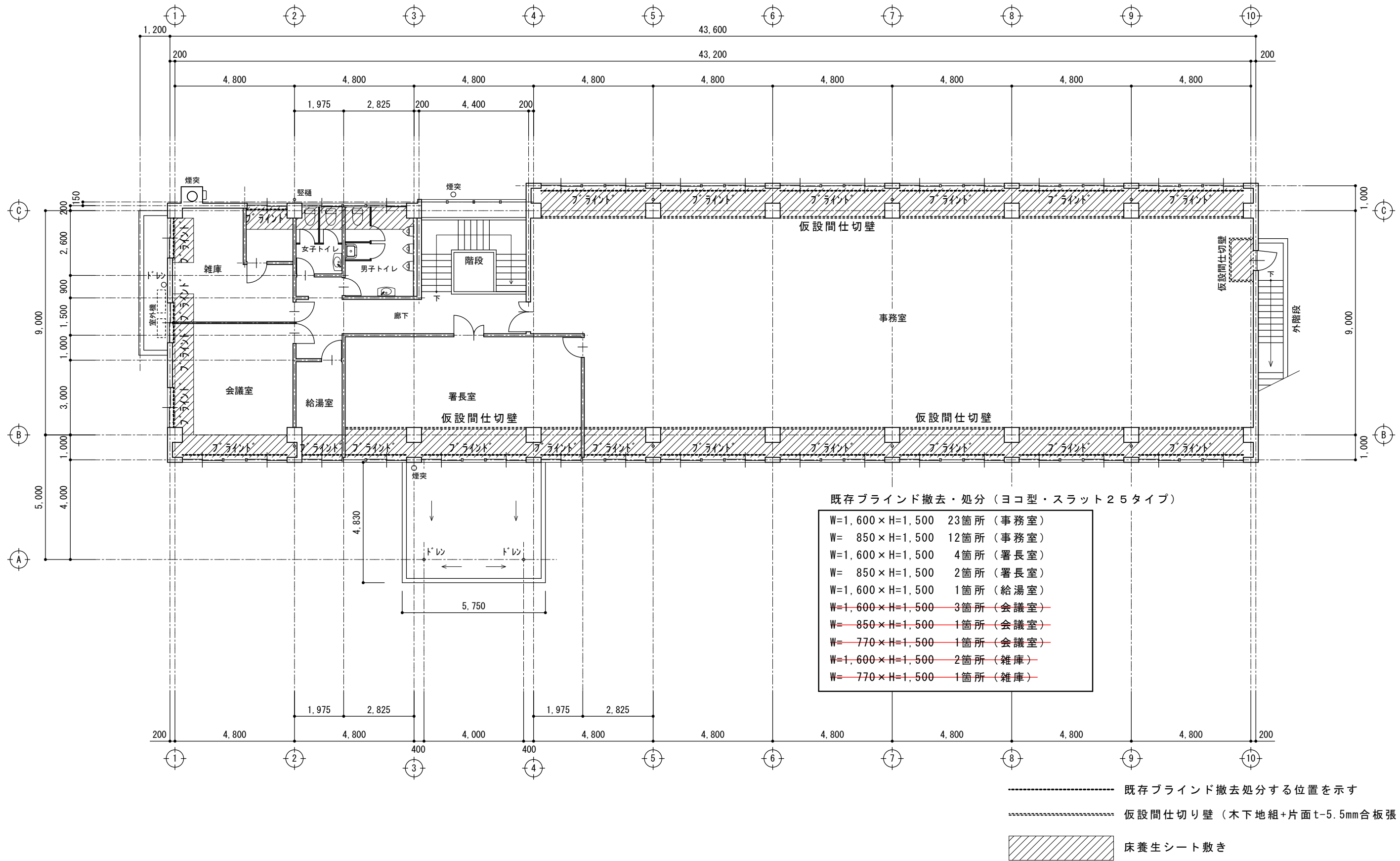
外部仕上表

屋 根 ・ 庇	陸屋根シート防水	外 部 建 具	アルミ製建具
			既存窓撤去、新規アルミ製建具カバー工法にて改修（階段室連窓及び1階貸し事務室2のアルミ両開きドアは除く）
軒 裏	フレキシブルボード張りの上、可とう形改修塗材ローラー塗り 玄関ポーチは金属スバンドレル塗装	ポ ー チ	コンクリート刷毛引き
外 壁	モルタル下地、可とう形改修塗材Eローラー塗り 東側、西側の1階部分タイル張り	テ ラ ス	防水モルタル金ゴテ仕上げ
基 礎	コンクリート打放し	そ の 他	外部足場設置（仮設図面参照）

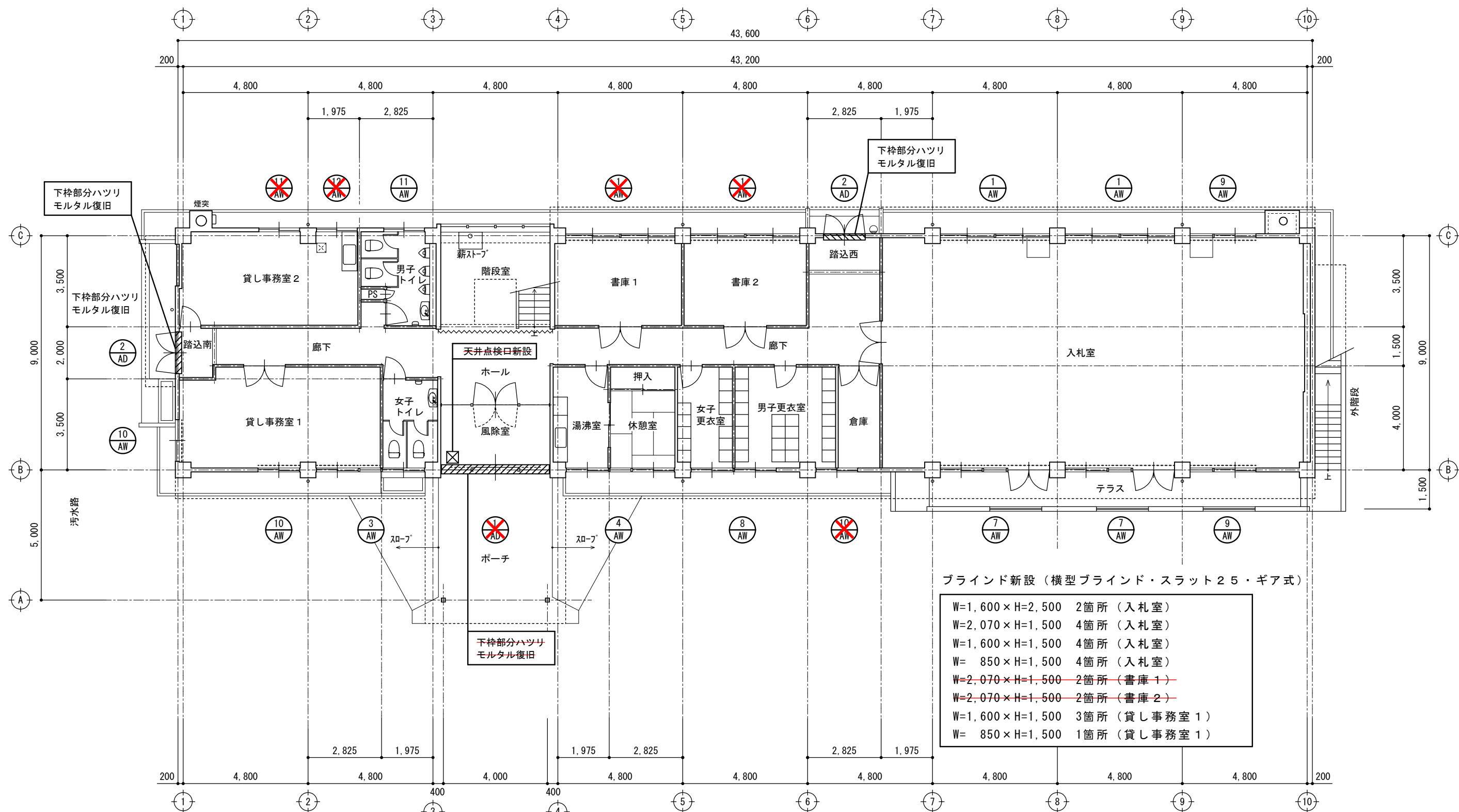
内部部仕上表

室 名	床	巾 木	壁	天 井	廻 縁	天井高	備 考
1 階							
風除室	タイル張り中央部石張り	壁同材	木レンガ張り	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	H25木製OP	2.615	自動ドア改修部分床ハツリ及びモルタル復旧
							アルミ枠450天井点検口新設
ホール廊下	t-2.3mmCFシート張り	H100唐松CL	腰壁：t-12mm県産唐松タテ張りCL、上壁石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	H25木製OP	2.510	ドア改修部分床ハツリ及びモルタル復旧（2箇所）
階段室	t-2.3mmCFシート張り		モルタル下地+吹付け仕上げ	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	H25木製OP	―――	
入札室	フリーリング張り	H90木製OP	南北面：板張り、東西面：モルタル下地ビニールクロス貼り	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	H25木製OP	2.870	ブラインド撤去及び新設
湯沸室	コンクリート金ゴテ（目地入り）仕上げ	H75ソフト	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	化粧石膏ボード（ジブトーン）張り	塩ビ	2.650	ブラインドそのまま
休憩室	ころばし床組、合板張り、タタミ敷き	外寄せ	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	化粧石膏ボード（ジブトーン）張り	塩ビ	2.450	ブラインドそのまま
女子更衣室	t-2.5mm長尺塩ビシート張り	H75ソフト	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	化粧石膏ボード（ジブトーン）張り	塩ビ	2.510	ブラインドそのまま
男子更衣室	t-2.5mm長尺塩ビシート張り	H75ソフト	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	化粧石膏ボード（ジブトーン）張り	塩ビ	2.510	ブラインドそのまま
書庫1	コンクリート金ゴテ（目地入り）仕上げ	H90木製OP	モルタル下地+プラスター塗り、廊下側は合板張りVP	化粧ボード（3'×6'）張り	塩ビ	2.605	ブラインド撤去及び新設
書庫2	コンクリート金ゴテ（目地入り）仕上げ	H90木製OP	モルタル下地+プラスター塗り、廊下側は合板張りVP	化粧ボード（3'×6'）張り	塩ビ	2.605	ブラインド撤去及び新設
倉庫	t-2.5mm長尺塩ビシート張り	H75ソフト	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	化粧石膏ボード（ジブトーン）張り	塩ビ	2.510	ブラインドそのまま
貸し事務室1	t-2.5mm長尺塩ビシート張り	H90木製OP	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	化粧石膏ボード（ジブトーン）張り	塩ビ	2.510	ブラインド撤去及び新設
貸し事務室2	t-2.5mm長尺塩ビシート張り	H75ソフト	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	化粧石膏ボード（ジブトーン）張り	塩ビ	2.710	ブラインド撤去及び新設
男子トイレ	t-2.5mm長尺塩ビシート張り	タイル	腰壁：タイル張り、上壁モルタル下地+プラスター塗り	石膏ボード目透かし張りVP	シール	2.720	
女子トイレ	t-2.5mm長尺塩ビシート張り	H75ソフト	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	化粧石膏ボード（ジブトーン）張り	塩ビ	2.510	
2 階							
廊 下	t-2.5mm長尺塩ビシート張り	H90木製OP	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	H25木製OP	2.580	
事務室	木製パーケット張り	H90木製OP	モルタル下地+プラスター塗り	化粧石膏ボード（ジブトーン）張り	塩ビ	2.780	ドア改修部分床ハツリ及び床板張り・シール復旧 ブラインド撤去及び新設
署長室	木製パーケット張り	H90木製OP	木質系板張り	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	塩ビ	2.780	ブラインド撤去及び新設
会議室	木製パーケット張り	H90木製OP	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	H25木製OP	2.670	ブラインド撤去及び新設
湯沸室	Pタイル張り	H90木製OP	モルタル下地+プラスター塗り	化粧ボード（3'×6'）張り	塩ビ	3.100	ブラインド撤去及び新設
男子トイレ	モザイクタイル張り	タイル	腰壁：タイル張り、上壁モルタル下地+プラスター塗り	ケイカル板張り+塗装仕上げ	シール	2.670	
女子トイレ	モザイクタイル張り	タイル	腰壁：タイル張り、上壁モルタル下地+プラスター塗り	ケイカル板張り+塗装仕上げ	シール	2.670	
雑 庫	木製パーケット張り	H90木製OP	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	石膏ボード張り+ビニールクロス貼り	H25木製OP	2.670	ブラインド撤去及び新設
外階段	防水モルタル金ゴテ仕上げ		モルタル下地、可とう形改修塗材ローラー塗り	―――	―――	―――	

訂正	工 事 名	 株式会社 久高設計 長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録 (上田) M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名	
	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事				2021. 12. 16	—	21-020	A	6	仕 上 表



訂正	工事名	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録（上田）M-28311号 1級建築士 大田登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名
	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事				2021. 12. 16	1 150	21-020	8	現況2階平面図
									仮設計画
									ブラインド撤去図

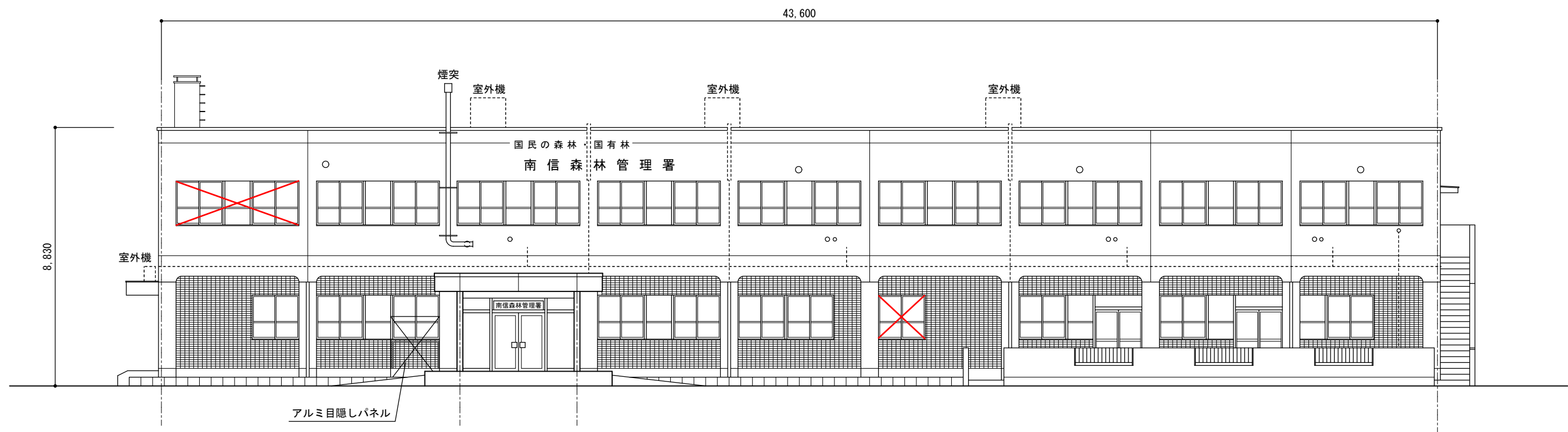


ブラインド新設（横型ブラインド・スラット25・ギア式）

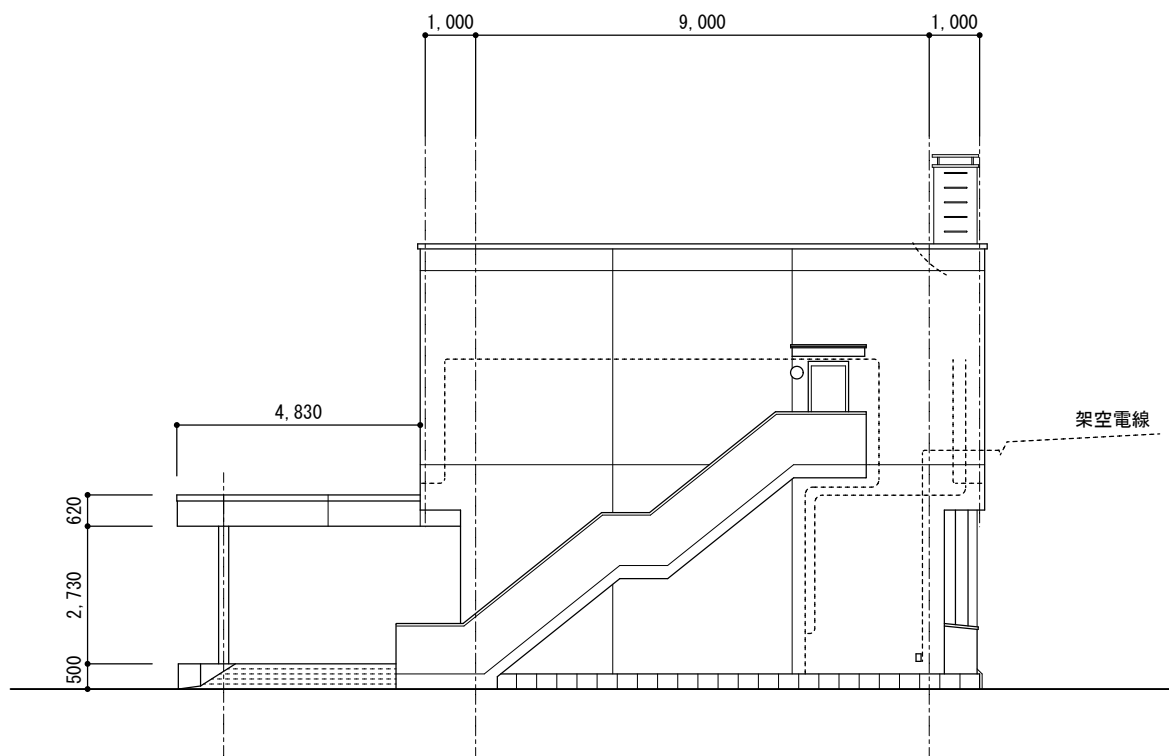
W=1,600×H=2,500	2箇所（入札室）
W=2,070×H=1,500	4箇所（入札室）
W=1,600×H=1,500	4箇所（入札室）
W= 850×H=1,500	4箇所（入札室）
W=2,070×H=1,500	2箇所（図書1）
W=2,070×H=1,500	2箇所（図書2）
W=1,600×H=1,500	3箇所（貸し事務室1）
W= 850×H=1,500	1箇所（貸し事務室1）

----- ブラインド新設する位置を示す

訂正	工事名	南信森林管理署庁舎外部建具改修工事	 株式会社 久高設計	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録（上田）M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名
							2021. 12. 16	1 150	21-020	A 9	改修1階平面図
											建具キープラン
											ブラインド設置図



東側立面図



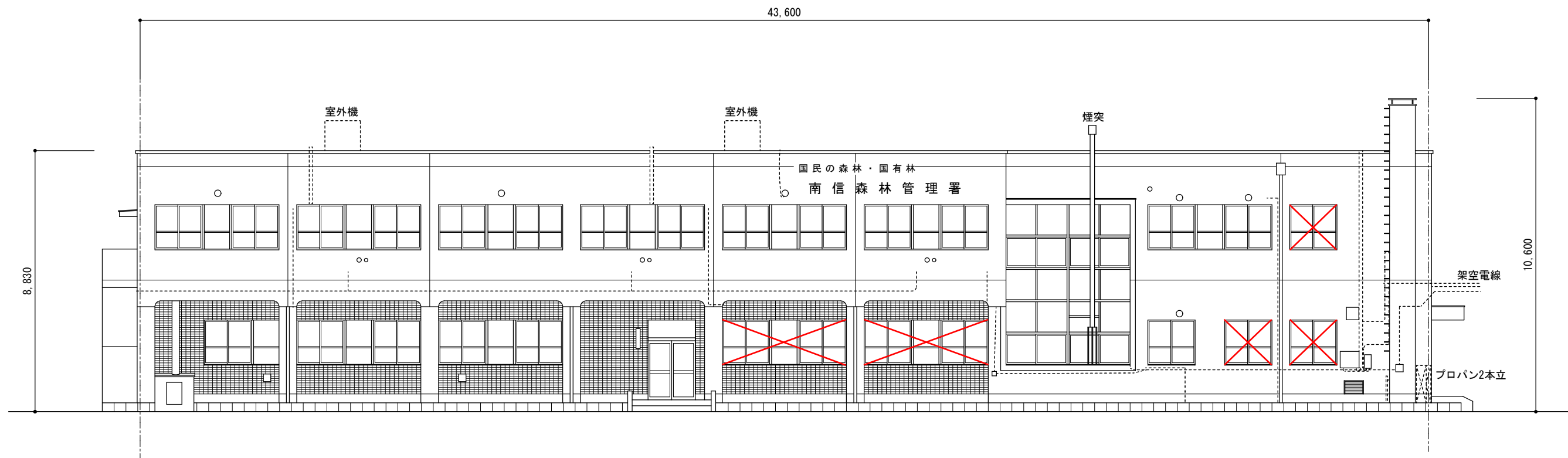
北側立面図

点線は配管、配線を示す

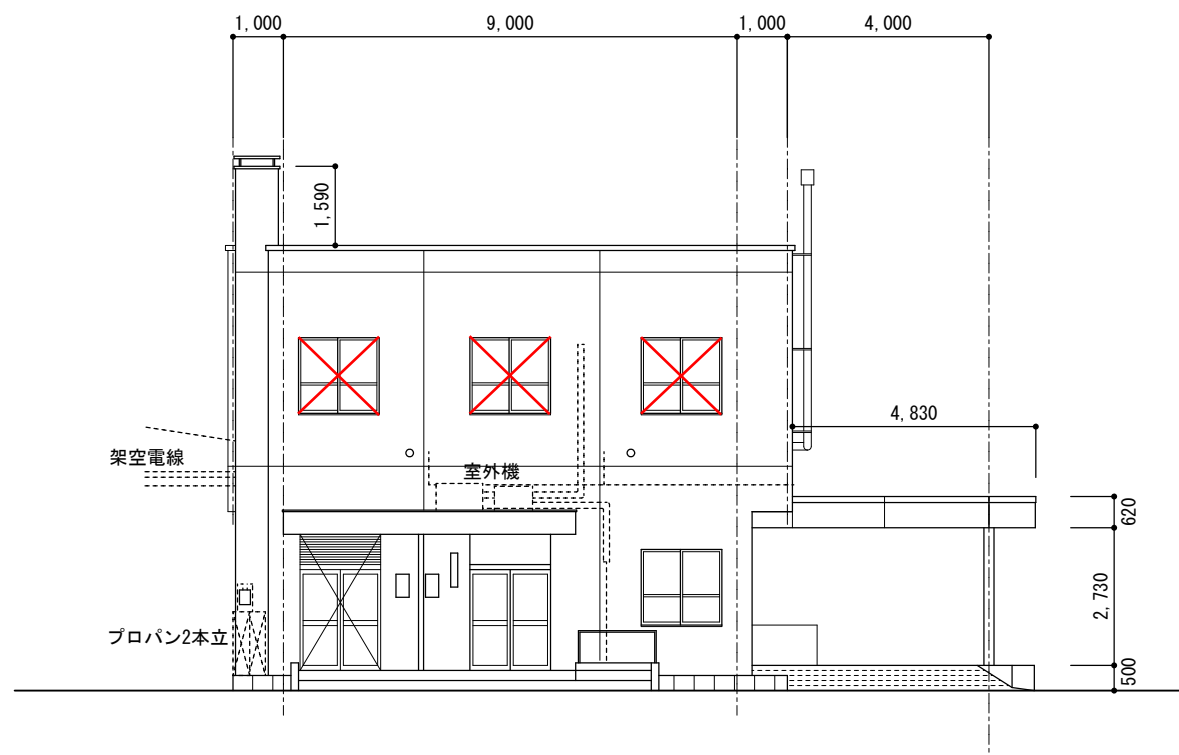
訂正	工事名	検印	設計	月日	縮尺	整理番号	図面番号	図名
	南信森林管理署庁舎外部建具改修工事			2021.12.16	1/150	21-020	11	現況立面図1

株式会社 久高設計

長野県上田市住吉55-2
1級建築士事務所 長野県知事登録(上田)M-28311号
1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印
本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382
佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660



西側立面図



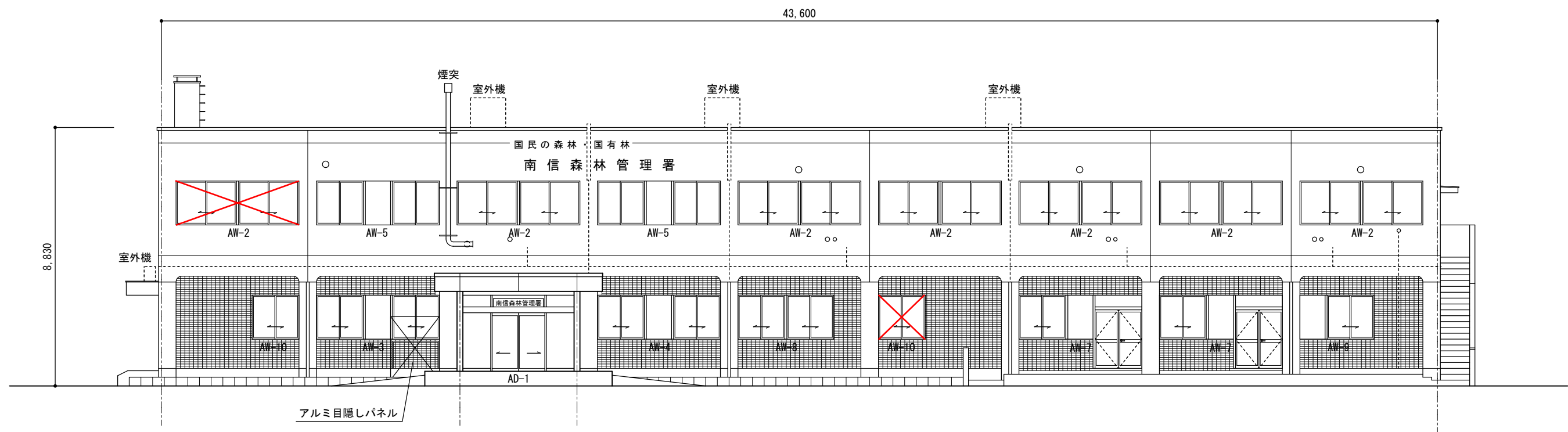
南側立面図

..... 点線は配管、配線を示す

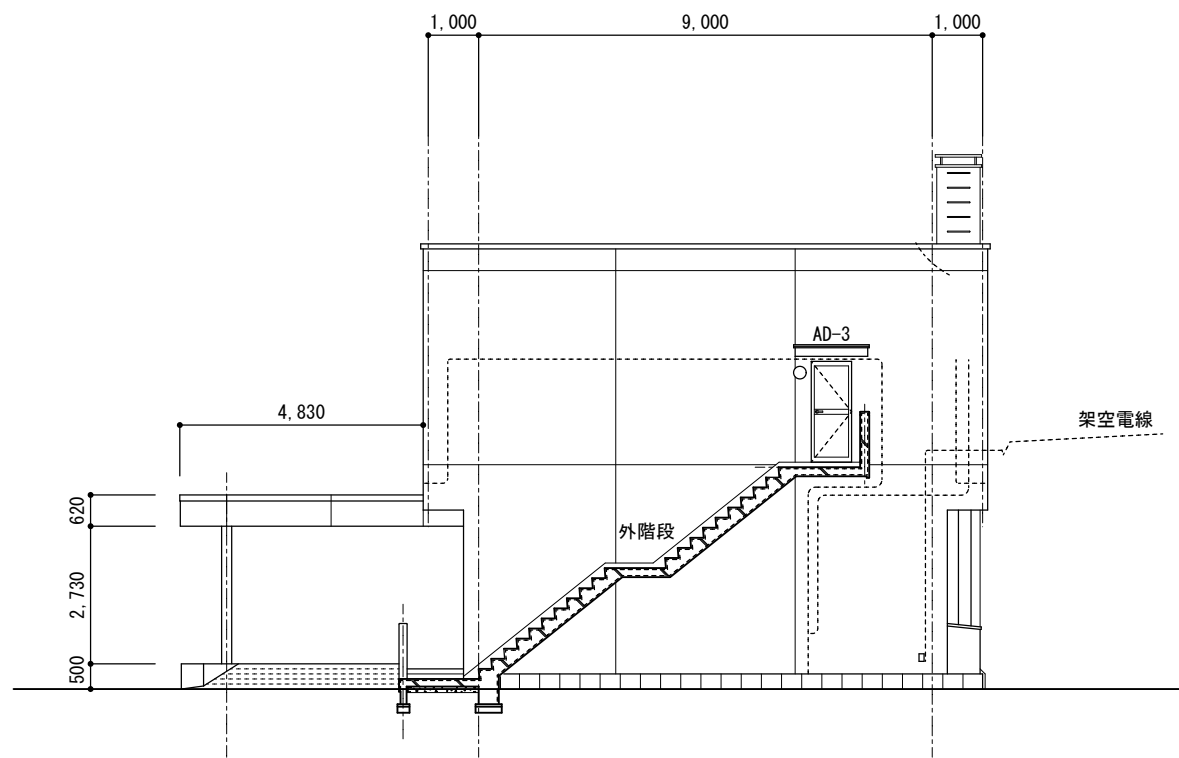
訂正	工事名	検印	設計	月日	縮尺	整理番号	図面番号	図名
	南信森林管理署庁舎外部建具改修工事			2021.12.16	1/150	21-020	12	現況立面図2

**株式会社 久高設計**

長野県上田市住吉55-2
1級建築士事務所 長野県知事登録 (上田) M-28311号
1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印
本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382
佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660



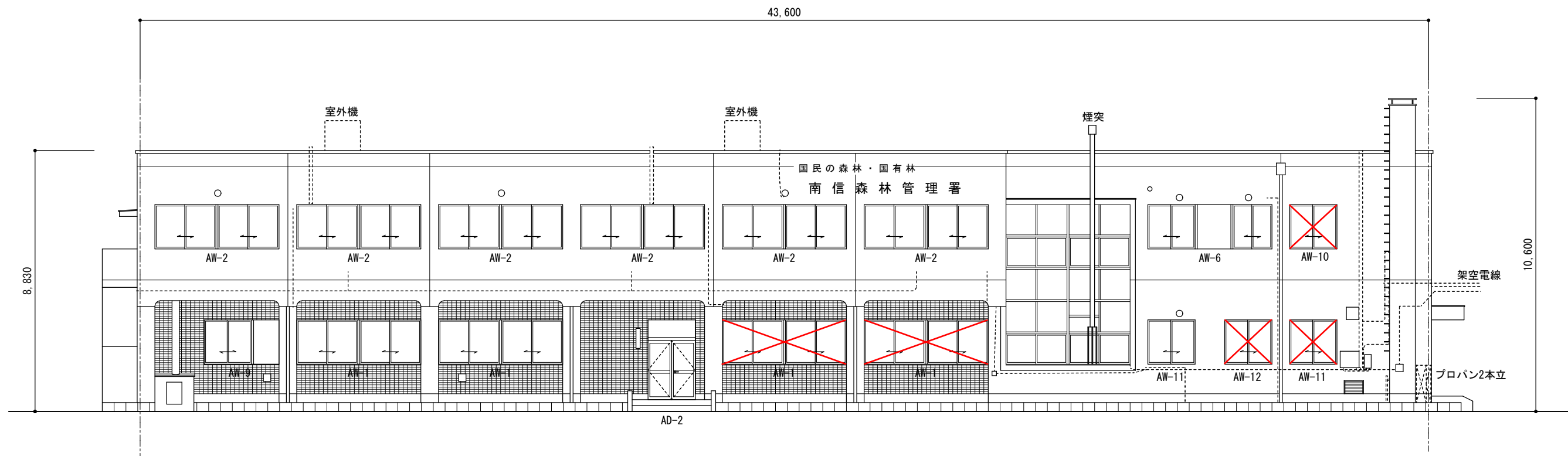
東側立面図



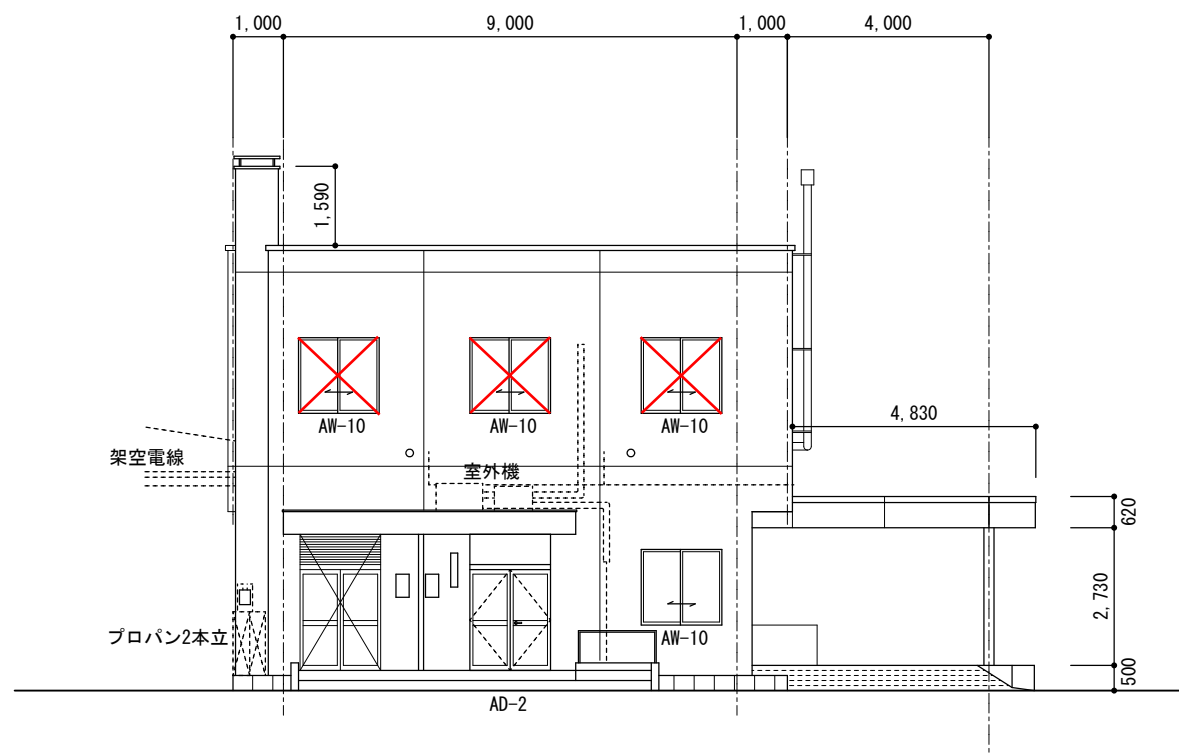
北側立面図

..... 点線は配管、配線を示す

訂正	工事名	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録 (上田) M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660 株式会社 久高設計	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名
	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事				2021. 12. 16	1 150	21-020	13	改修立面図 1



西側立面図



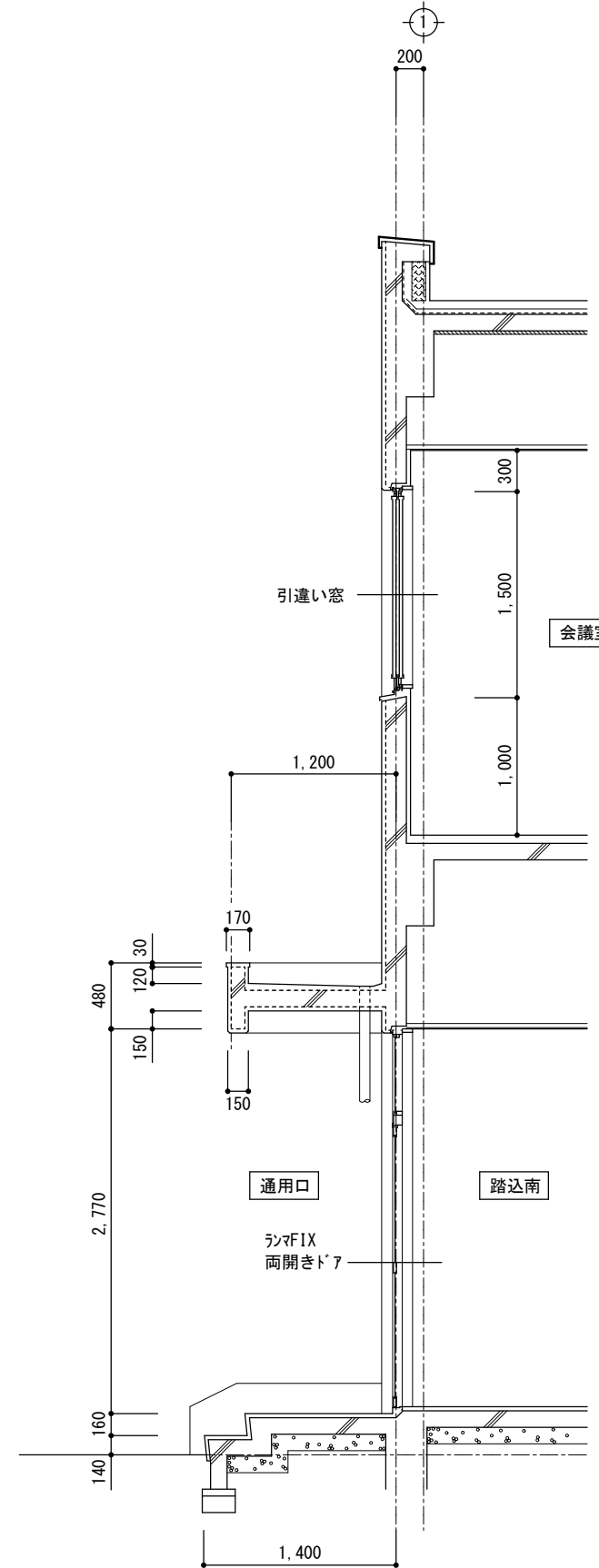
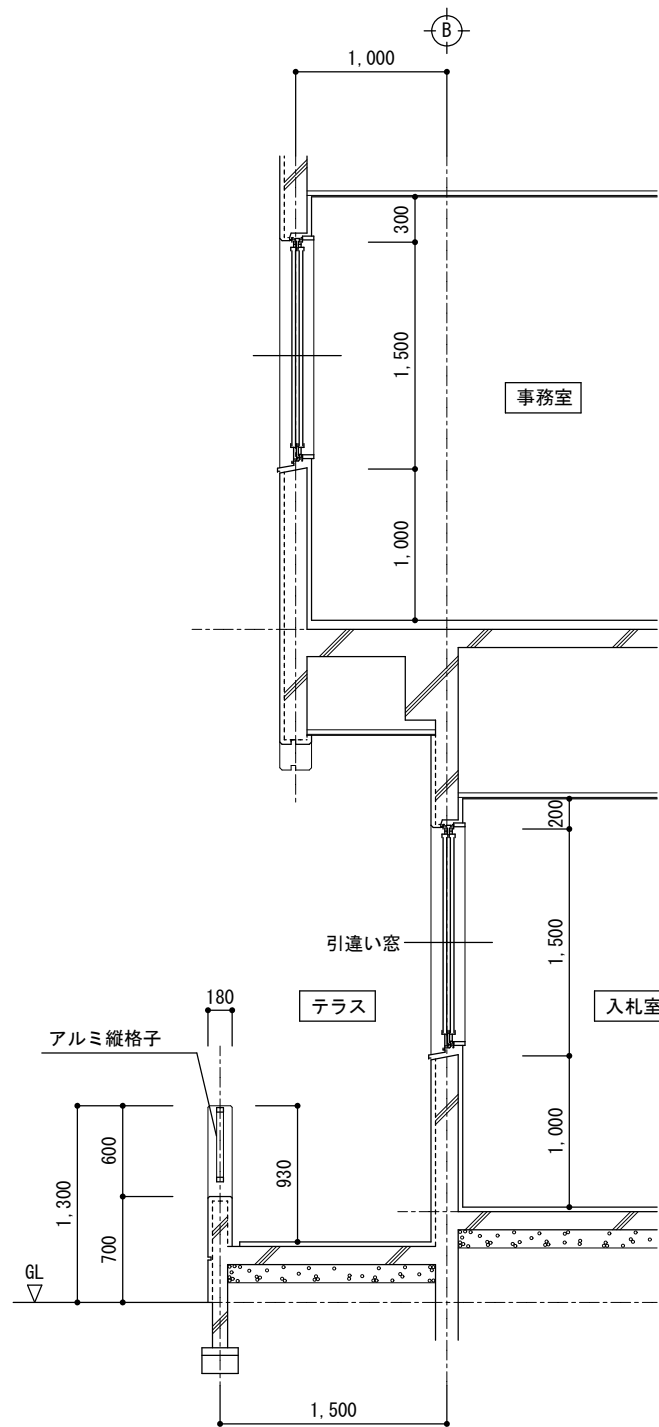
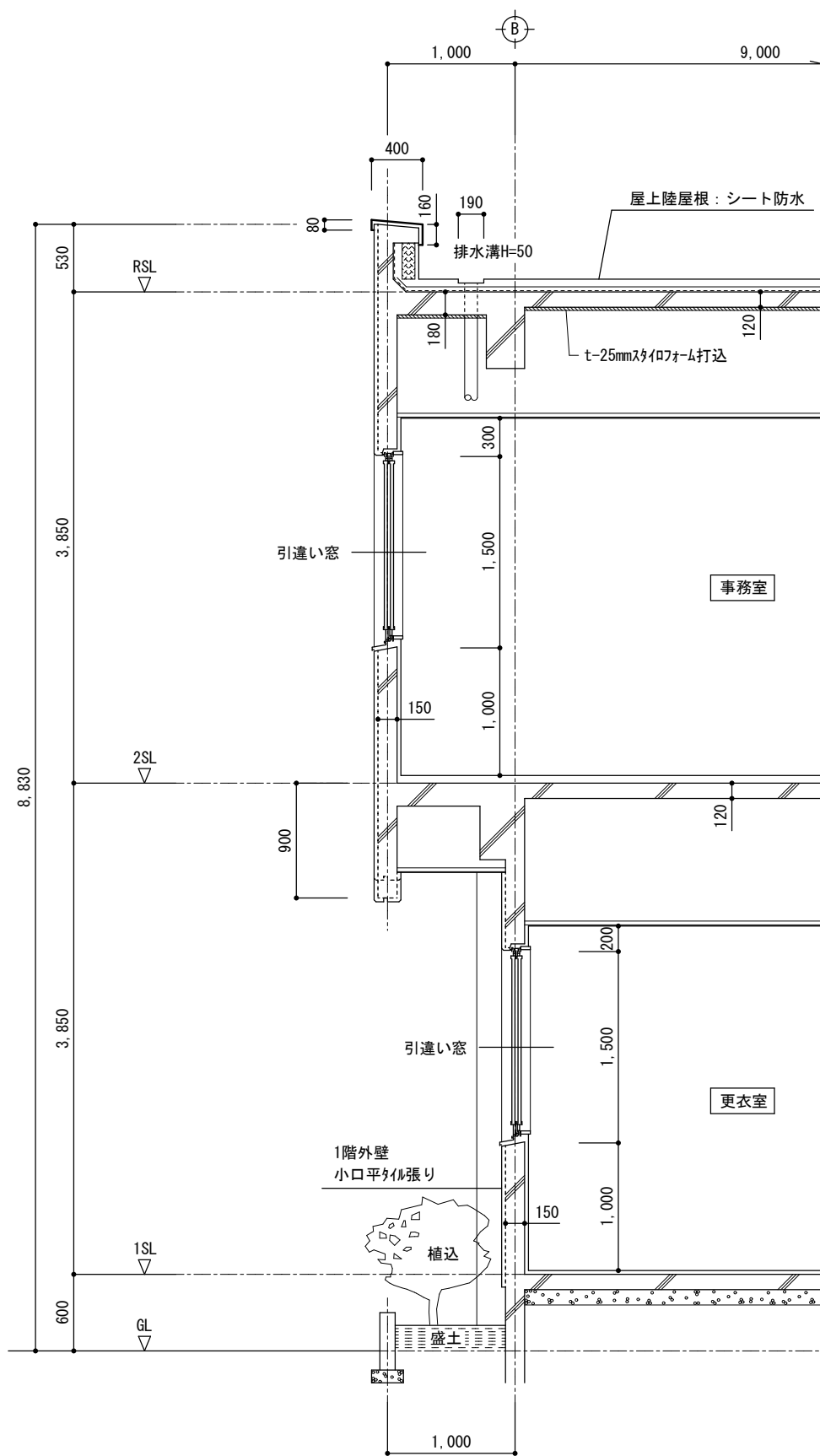
南側立面図

点線は配管、配線を示す

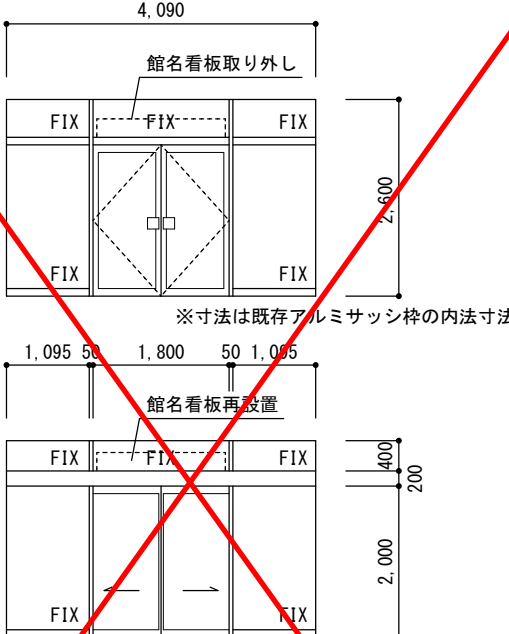
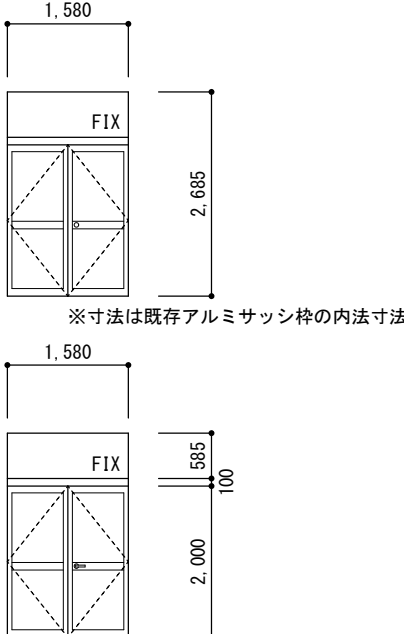
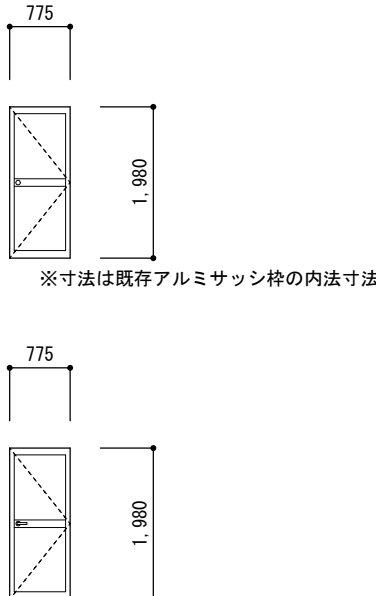
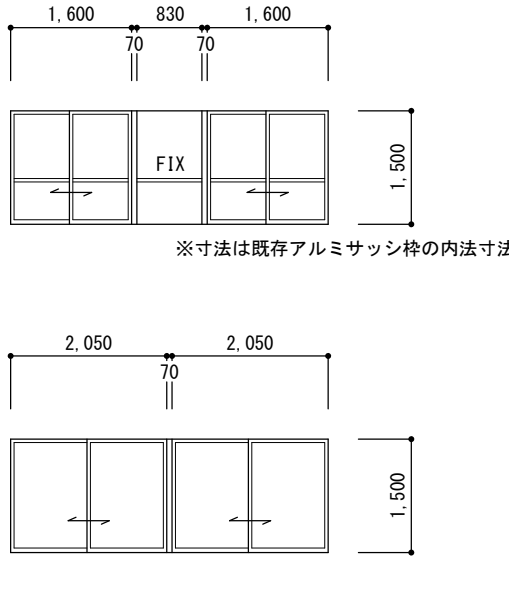
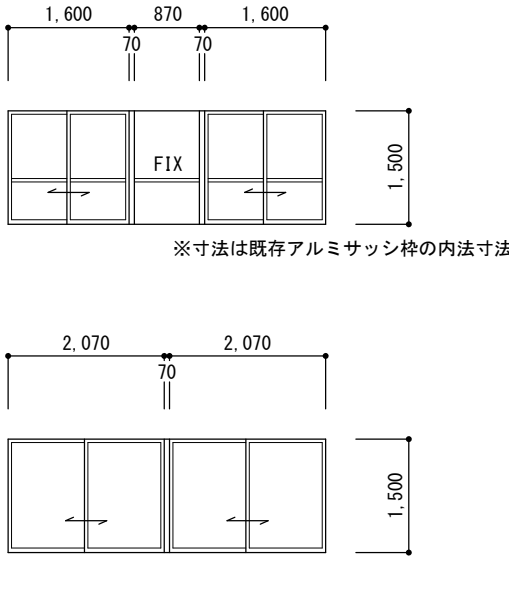
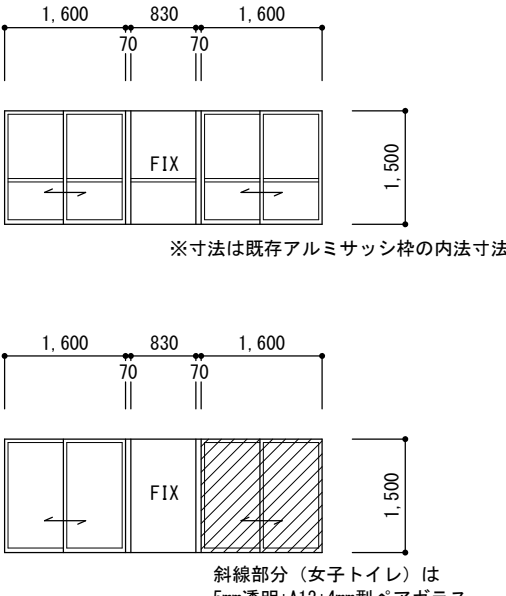
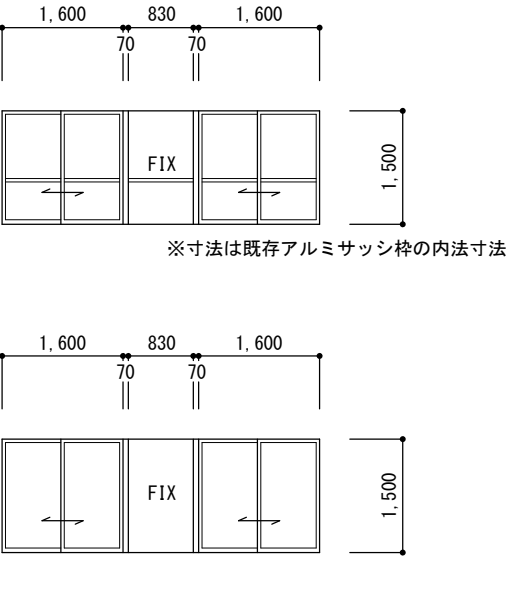
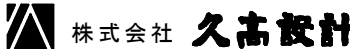
訂正	工事名	検印	設計	月日	縮尺	整理番号	図面番号	図名
	南信森林管理署庁舎外部建具改修工事			2021.12.16	1/150	21-020	14	改修立面図2

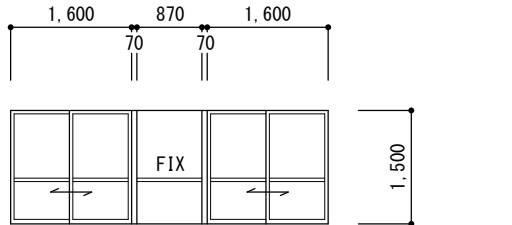
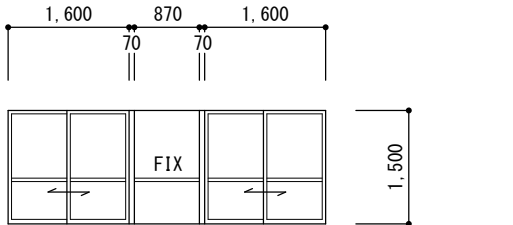
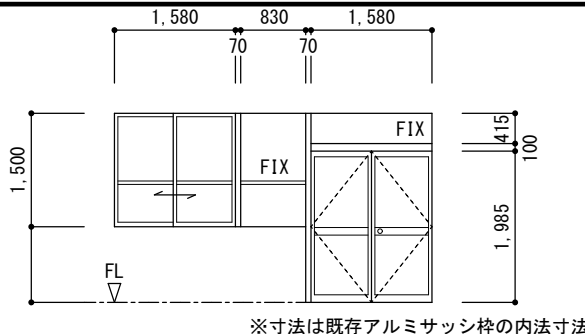
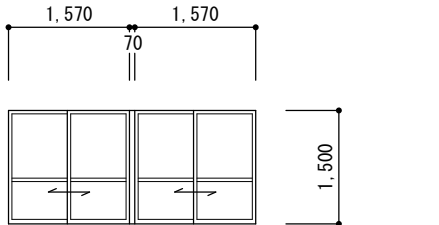
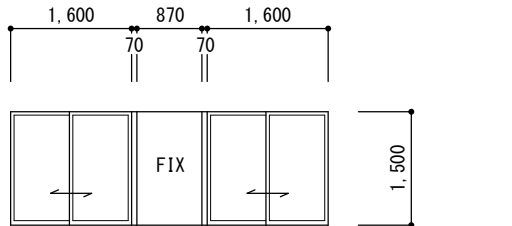
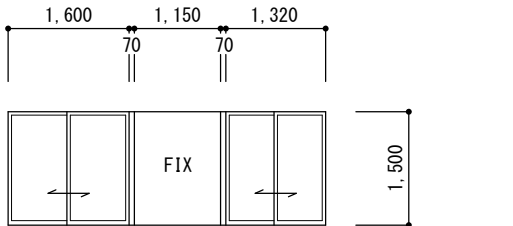
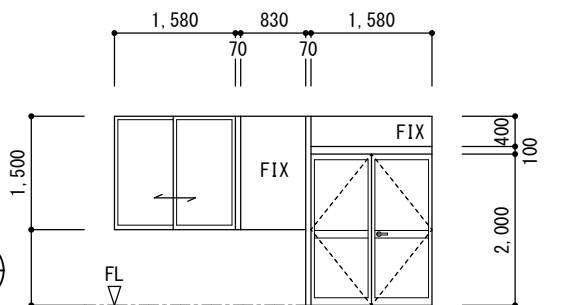
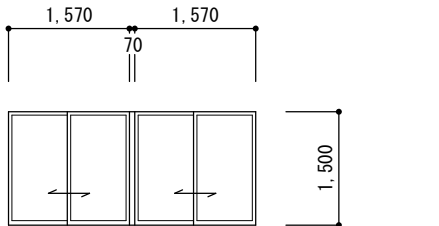
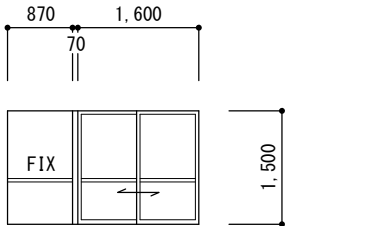
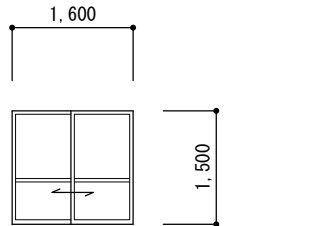
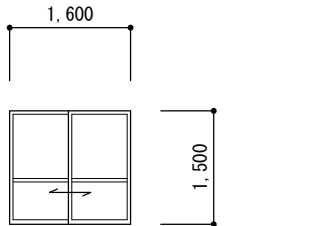
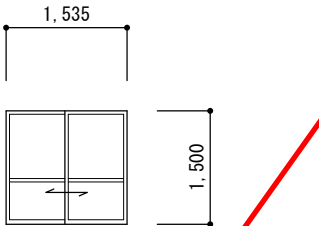
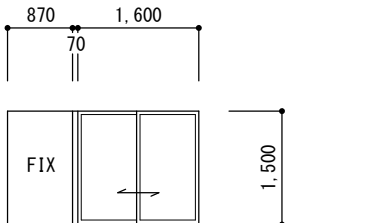
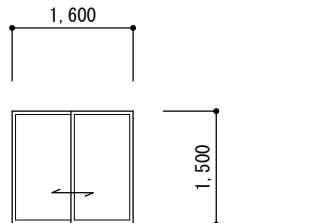
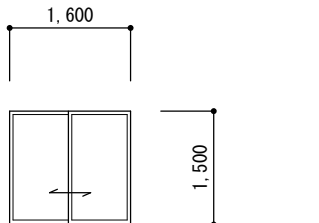
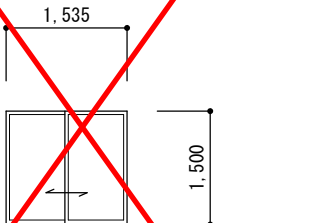
株式会社 久高設計

長野県上田市住吉55-2
1級建築士事務所 長野県知事登録(上田)M-28311号
1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印
本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382
佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660

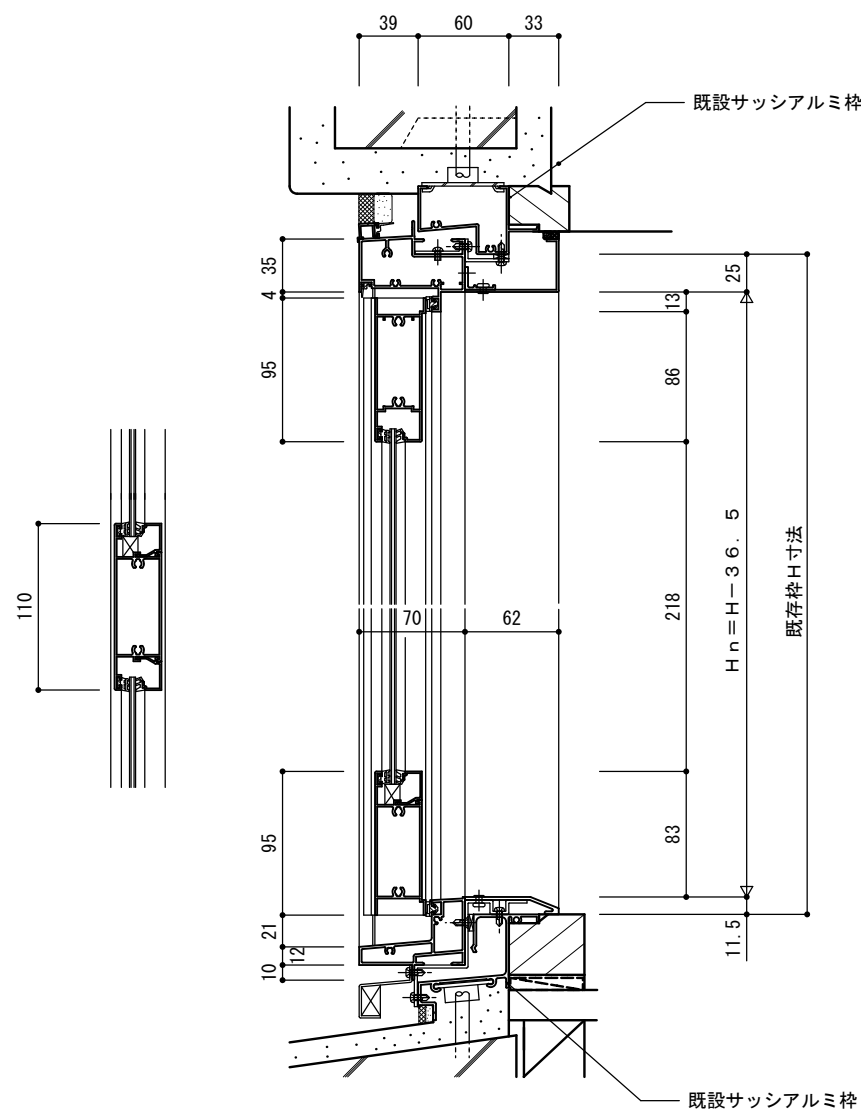


訂正	工事名	 株式会社 久高設計	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録 (上田) M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名
	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事					2021.12.16	1 50	21-020	15	現 況 断 面 図

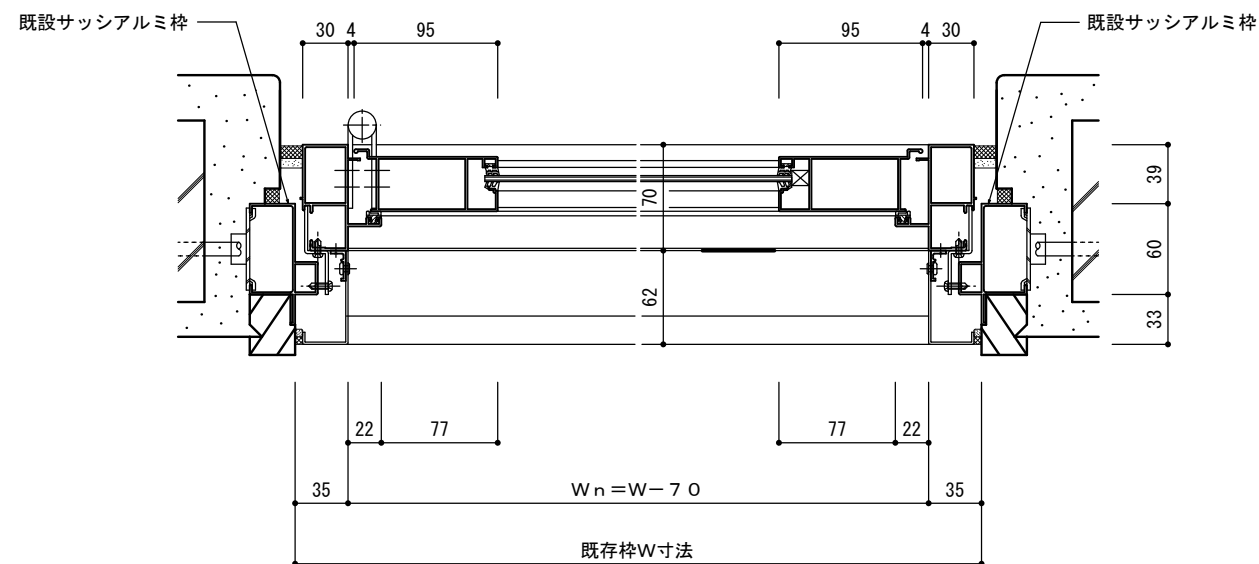
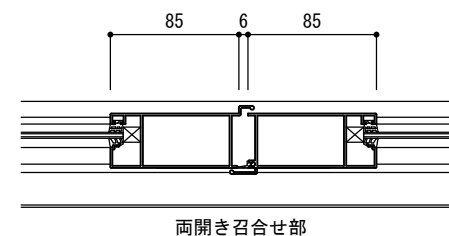
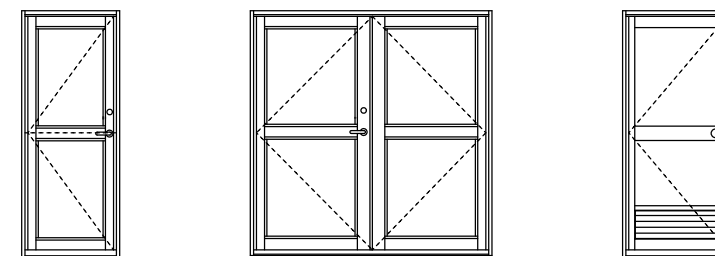
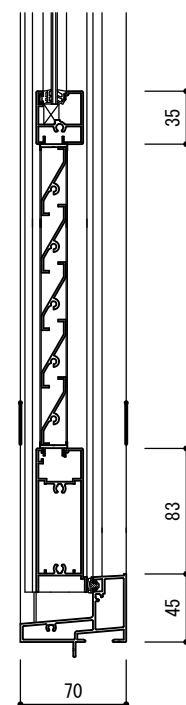
上段は既存建具 姿 図 下段は改修建具	1 AD 	2 AD 	3 AD 	○								
		両袖・ランマ F I X、アルミ引き分け自動ドア（カバー工法）										
		カラー										
		100mm ・ 1箇所 1階風除室										
ガ ラ ス	5mm透明											
建 具 金 物	人感センサー、サムターン錠、アルミ額縁、その他標準金物一式											
備 考	ガラス、ドア、ヒンジ、方立、無目を撤去処分											
	下部石張りハツリ、レール設置後モルタル補修											
上段は既存建具 姿 図 下段は改修建具	1 AW 	2 AW 	3 AW 	4 AW 								
	※寸法は既存アルミサッシ枠の内法寸法											
	※寸法は既存アルミサッシ枠の内法寸法											
	※寸法は既存アルミサッシ枠の内法寸法											
斜線部分（女子トイレ）は 5mm透明+A12+4mm型ペアガラス												
※寸法は既存アルミサッシ枠の内法寸法												
名 称	アルミ引違い2連窓（カバー工法）											
仕 上	カラー <u>2</u>											
見込・箇所	70mm ・ 4箇所 1階入札室、書庫1、書庫2											
ガ ラ ス	5mm透明 + A12 + 5mm透明 ペア											
建 具 金 物	クレセント、引手、SUS網戸、アルミ額縁、その他標準金物一式											
備 考												
	ガラス、窓障子、方立を撤去処分											
訂正		工 事 名		検 印		設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号		図 名
		南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事		 株式会社 久高設計			2021. 12. 16	1 100	21-020	A	16	改 修 建 具 表 1
				長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録（上田）M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660								

上段は既存建具 姿 図								
								
記 号	5 AW		6 AW		7 AW		8 AW	
名 称	アルミ引違い + F I X + 引違い窓（カバー工法）		アルミ引違い + F I X + 引違い窓（カバー工法）		アルミ引違い + F I X窓 + 両開きドア（カバー工法）		アルミ引違い2連窓（カバー工法）	
仕 上	カラー		カラー		カラー		カラー	
見込・箇所	70mm ・ 2箇所 2階湯沸室～署長室、署長室～事務室		70mm ・ 1箇所 2階女子トイレ～男子トイレ		70mm ・ 2箇所 1階入札室		70mm ・ 1箇所 1階女子更衣室～男子更衣室	
ガ ラ ス	5mm透明 + A12 +5mm透明 ペア		5mm透明 + A12 +4mm型 ペア		5mm透明 + A12 + 5mm透明 ペア		5mm透明 + A12 + 5mm透明 ペア	
建 具 金 物	クレセント、引手、SUS網戸、アルミ額縁、その他標準金物一式		クレセント、引手、SUS網戸、アルミ額縁、その他標準金物一式		レバーハンドル、シリンダー／サムターン錠、丁番、フランス落し クレセント、引手、SUS網戸、アルミ額縁、その他標準金物一式		クレセント、引手、SUS網戸、アルミ額縁、その他標準金物一式	
備 考	ガラス、窓障子を撤去処分		ガラス、窓障子、方立（1本）を撤去処分		ガラス、窓障子、ドア、無目を撤去処分		ガラス、窓障子を撤去処分	
上段は既存建具 姿 図								
								
記 号	9 AW		10 AW		11 AW		12 AW	
名 称	アルミ引違い窓 + F I X窓（カバー工法）		アルミ引違い窓（カバー工法）		アルミ引違い窓（カバー工法）		アルミ引違い窓（カバー工法）	
仕 上	カラー		カラー <u>2</u>		カラー <u>1</u>		カラー	
見込・箇所	70mm ・ 2箇所 1階入札室		70mm ・ 7箇所 1階貸し事務室1、倉庫、2階会議室、雑庫		70mm ・ 2箇所 1階貸し事務室2、男子トイレ		70mm ・ 1箇所 1階貸し事務室2	
ガ ラ ス	5mm透明 + A12 + 5mm透明 ペア		5mm透明 + A12 + 5mm透明 ペア		5mm透明 + A12 + 4mm型 ペア		5mm透明 + A12 + 4mm型 ペア	
建 具 金 物	クレセント、引手、SUS網戸、アルミ額縁、その他標準金物一式		クレセント、引手、SUS網戸、アルミ額縁、その他標準金物一式		クレセント、引手、SUS網戸、アルミ額縁、その他標準金物一式		クレセント、引手、SUS網戸、アルミ額縁、その他標準金物一式	
備 考	ガラス、窓障子を撤去処分		ガラス、窓障子を撤去処分		ガラス、窓障子を撤去処分		ガラス、窓障子を撤去処分	

訂正	工 事 名	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事	 株式会社 久高設計	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録（上田）M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名		
							2021. 12. 16	1 100	21-020	A	17	改 修 建 具 表 2	

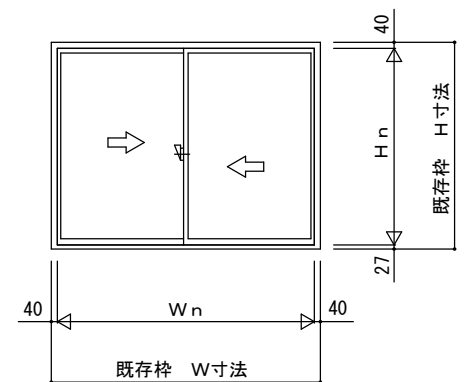
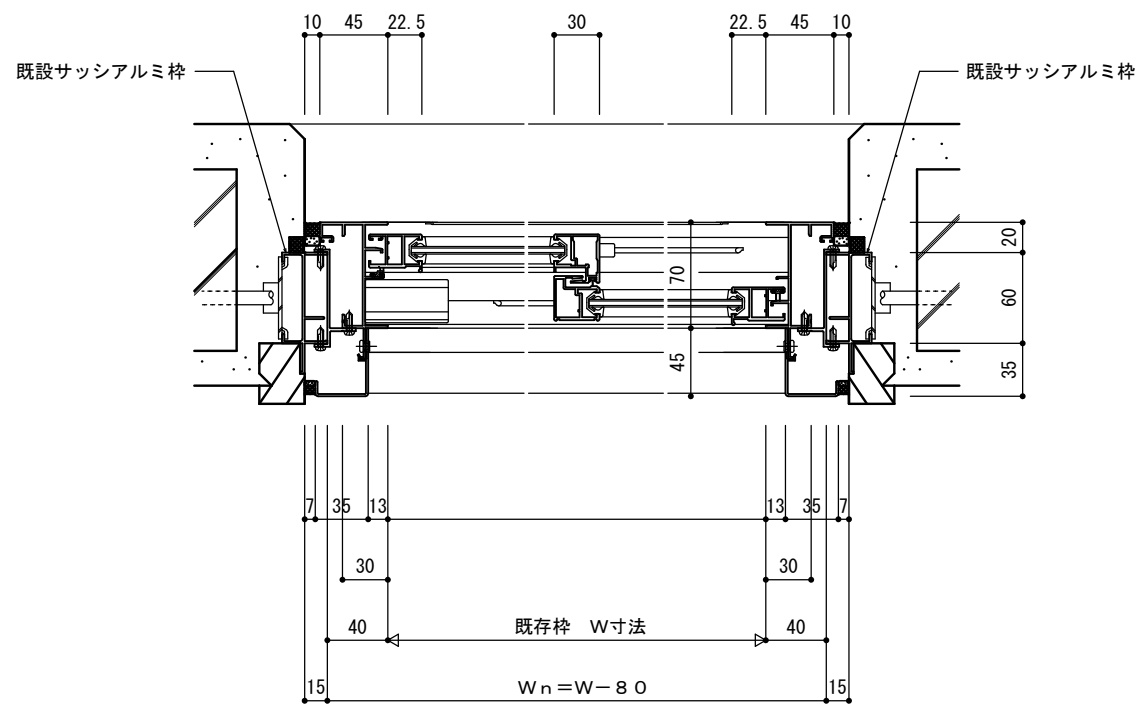
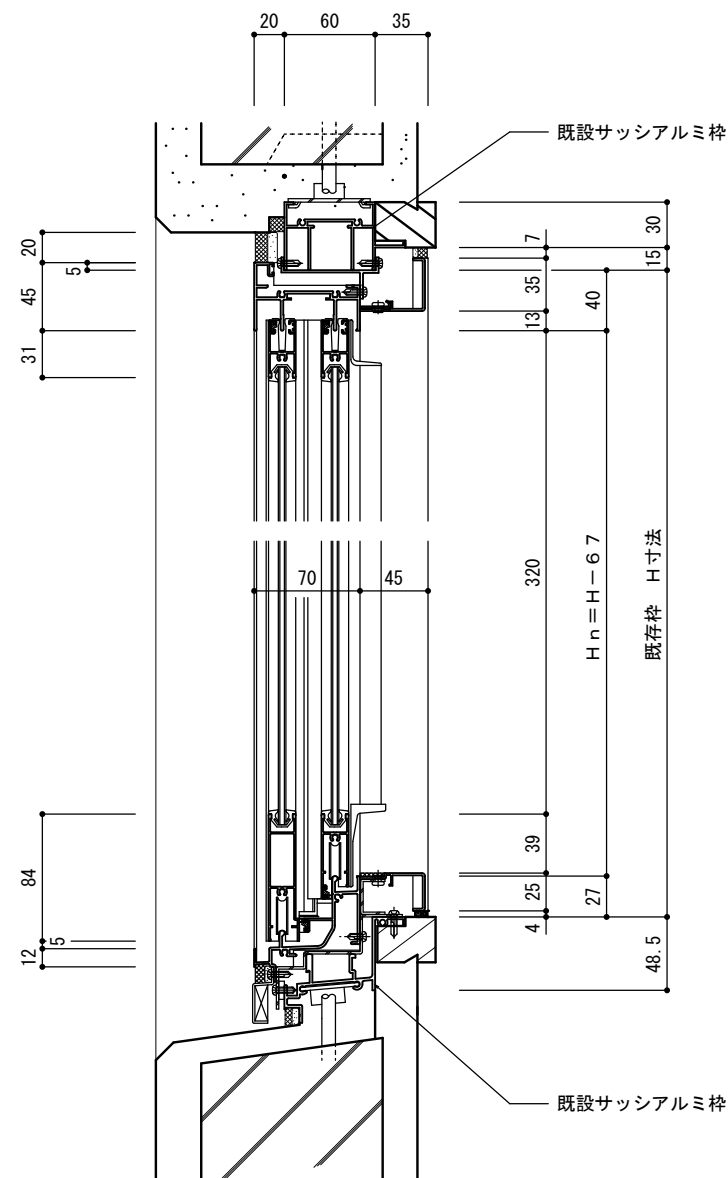


● ガラリ付タイプ
(14mm溝幅のみ)



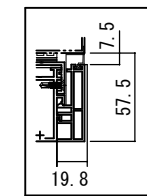
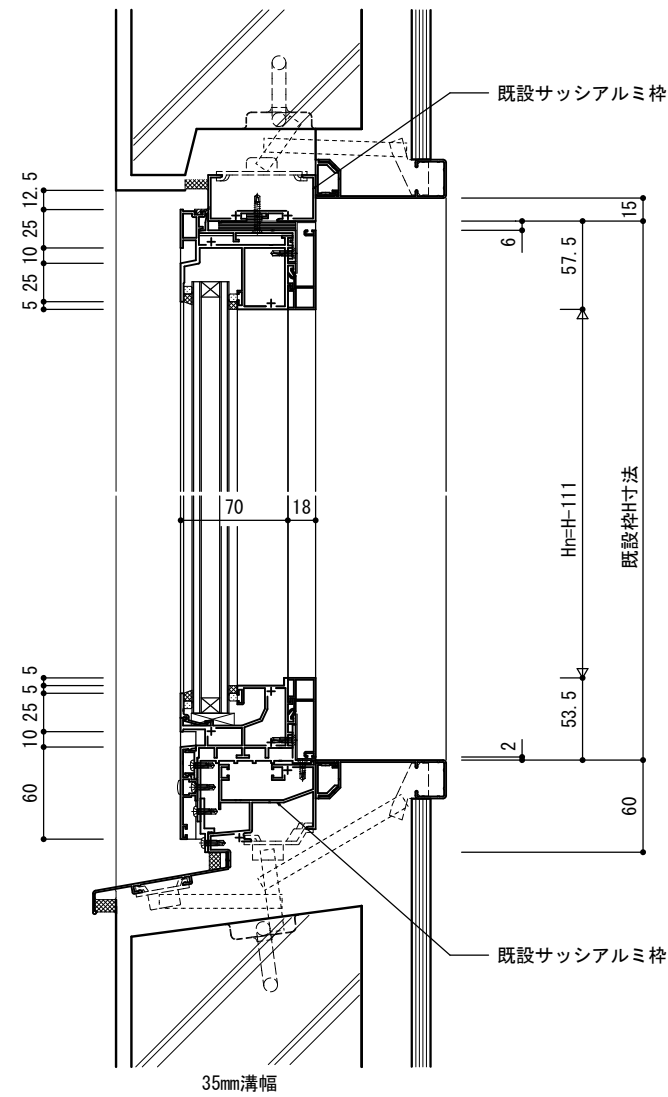
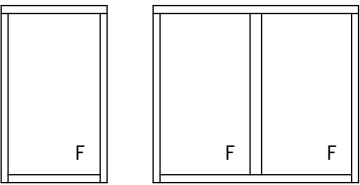
※参考納まり図（メーカーにより異なる）

訂正	工事名	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録（上田）M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名
	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事				2021.12.16	$\frac{1}{5}$	21-020	18	建具詳細図 1

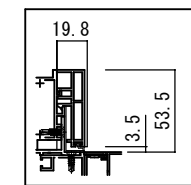


※参考納まり図（メーカーにより異なる）

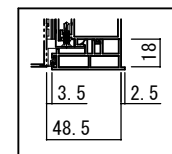
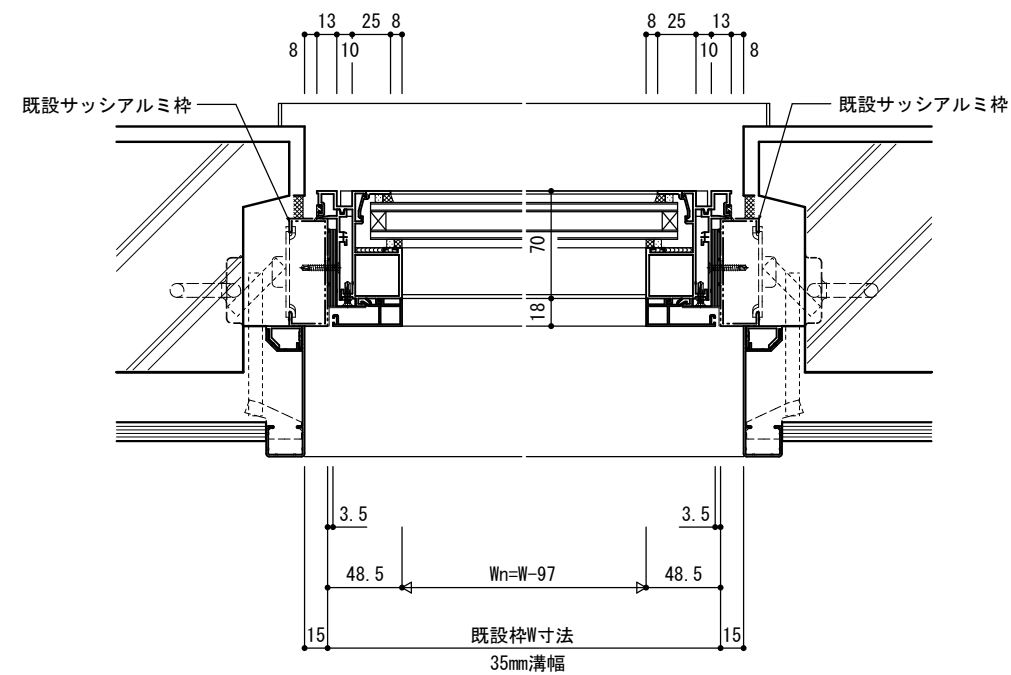
訂正	工事名	 株式会社 久高設計	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録（上田）M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名
	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事					2021.12.16	$\frac{1}{5}$	21-020	19	建具詳細図 2



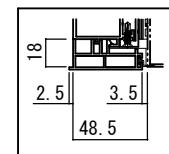
樹脂断熱カバー



樹脂断熱カバー



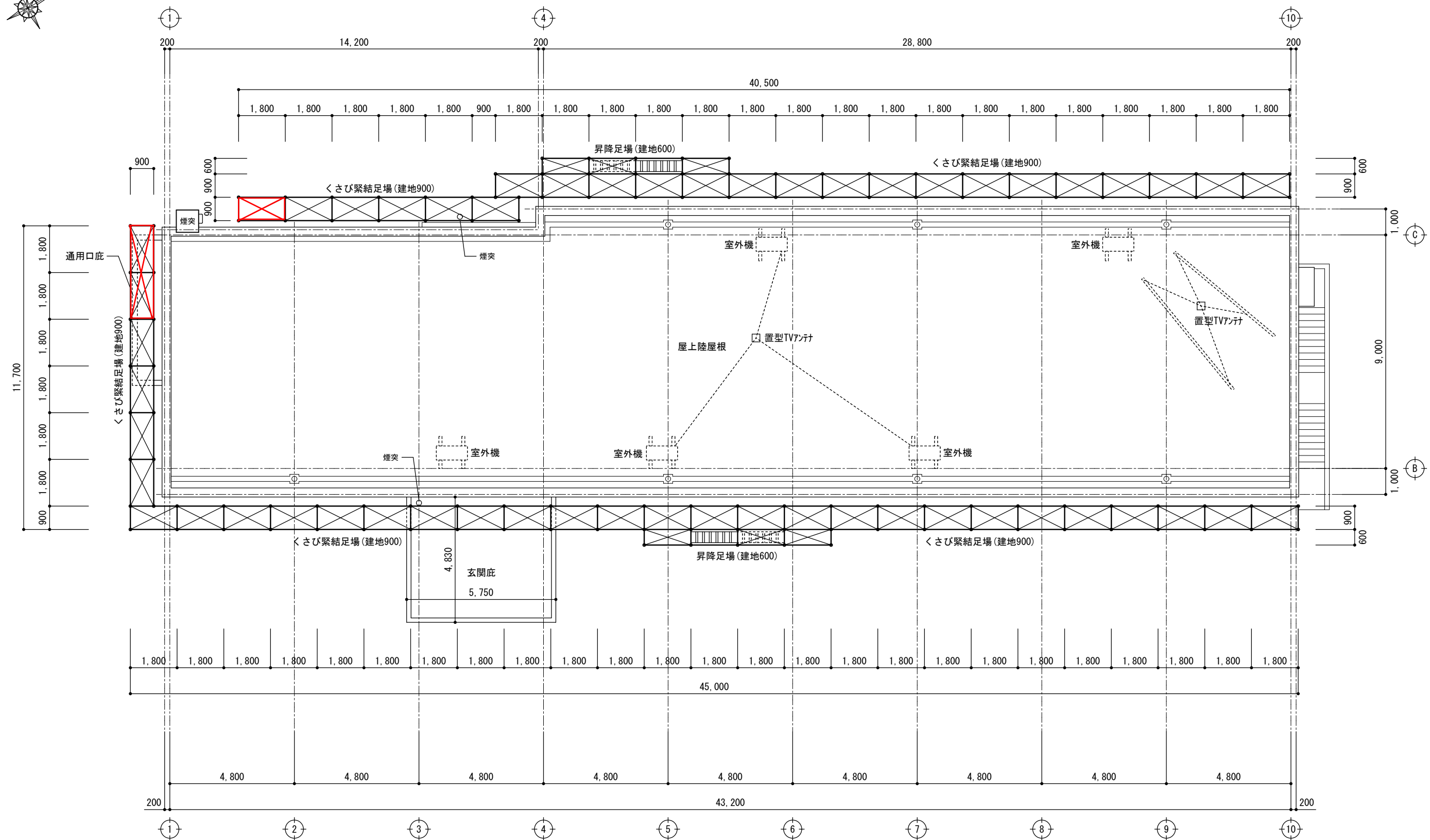
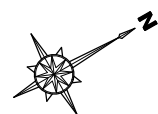
樹脂断熱カバー



樹脂断熱カバー

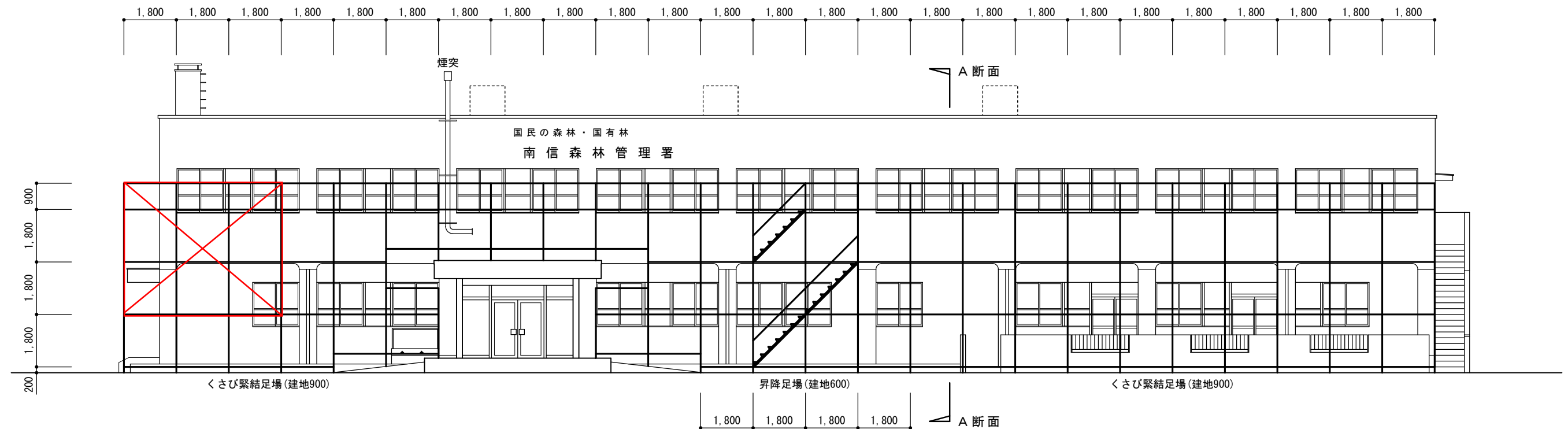
※参考納まり図（メーカーにより異なる）

訂正	工事名	 株式会社 久高設計	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録（上田）M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名
	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事					2021.12.16	$\frac{1}{5}$	21-020	20	建具詳細図 3



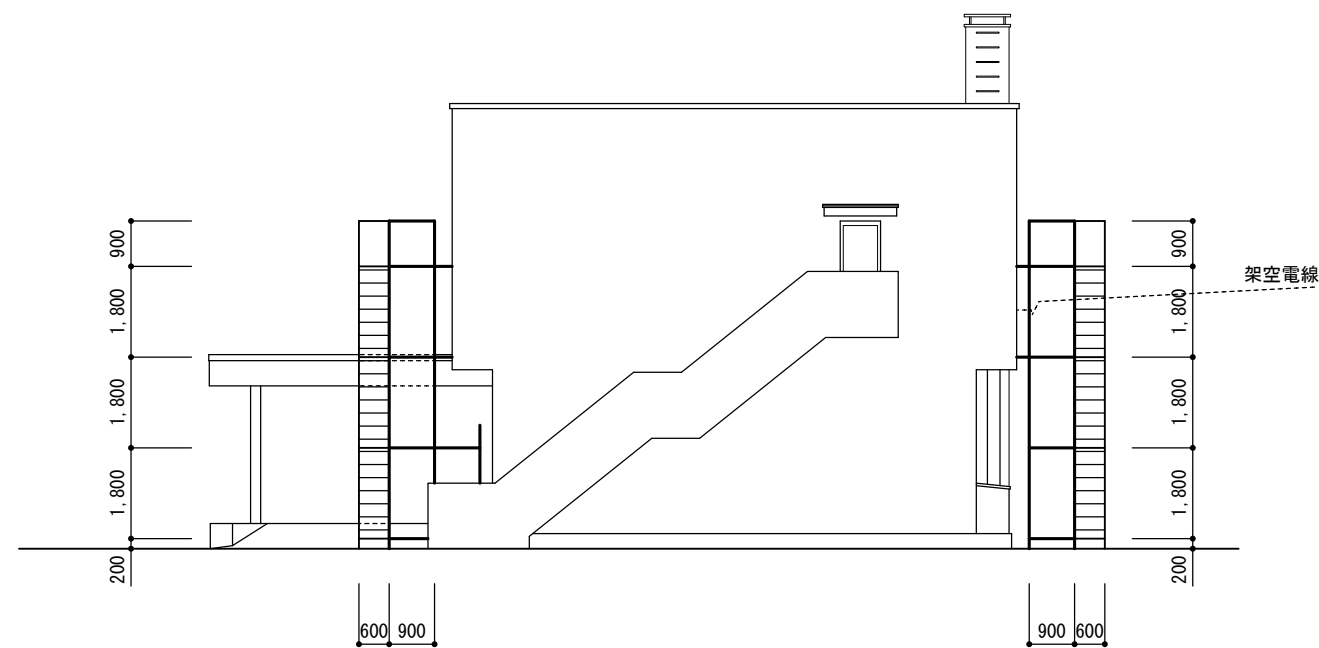
※) 足場全面に垂直養生シート張り

訂正	工 事 名	 株式会社 久高設計 長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録 (上田) M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名
	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事				2021. 12. 16	1	21-020	21	仮 設 平 面 図
						150			



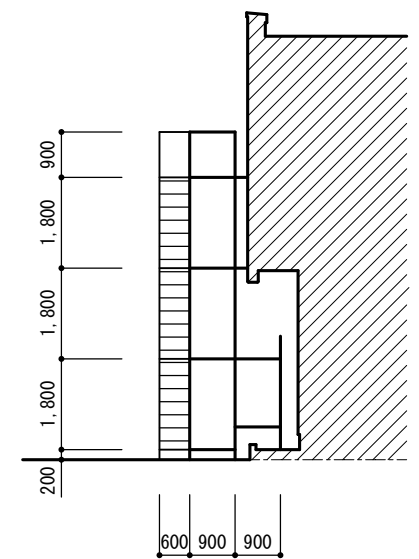
東側立面図

※) 足場全面に垂直養生シート張り



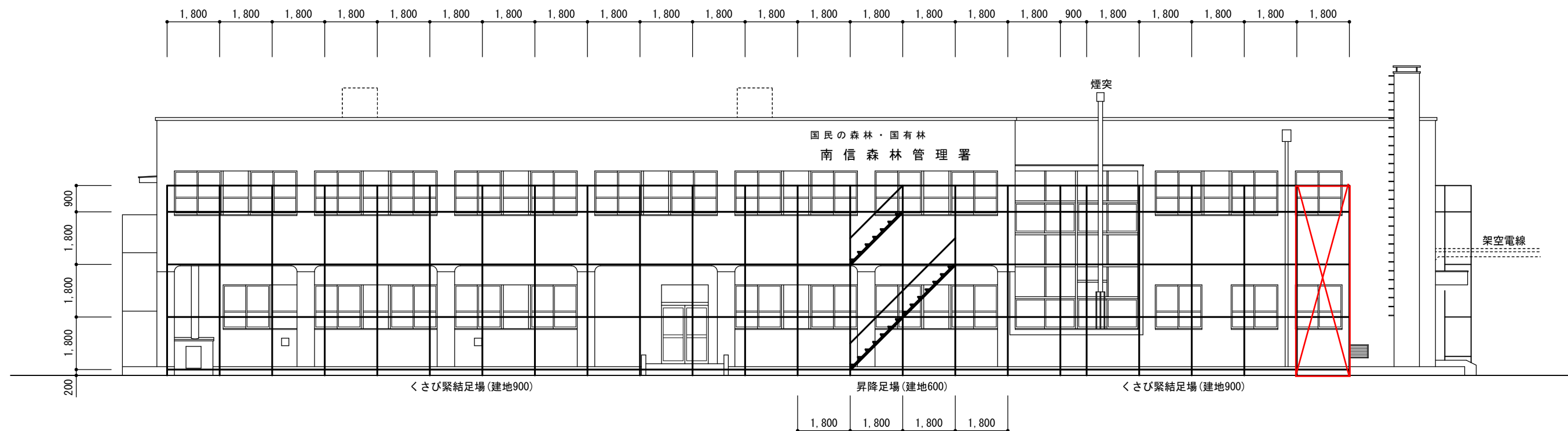
北側立面図

※) 足場全面に垂直養生シート張り



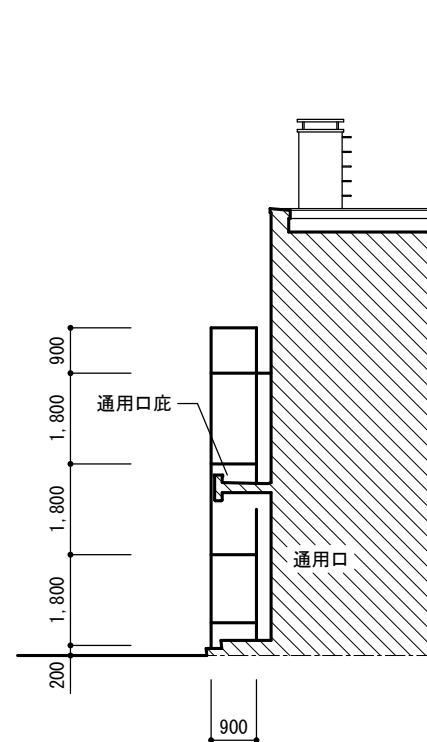
A断面

訂正	工事名	株式会社 久高設計 長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録 (上田) M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検印	設計	月日	縮尺	整理番号	図面番号	図名
	南信森林管理署庁舎外部建具改修工事				2021.12.16	1 150	21-020	22	仮設立面図 1

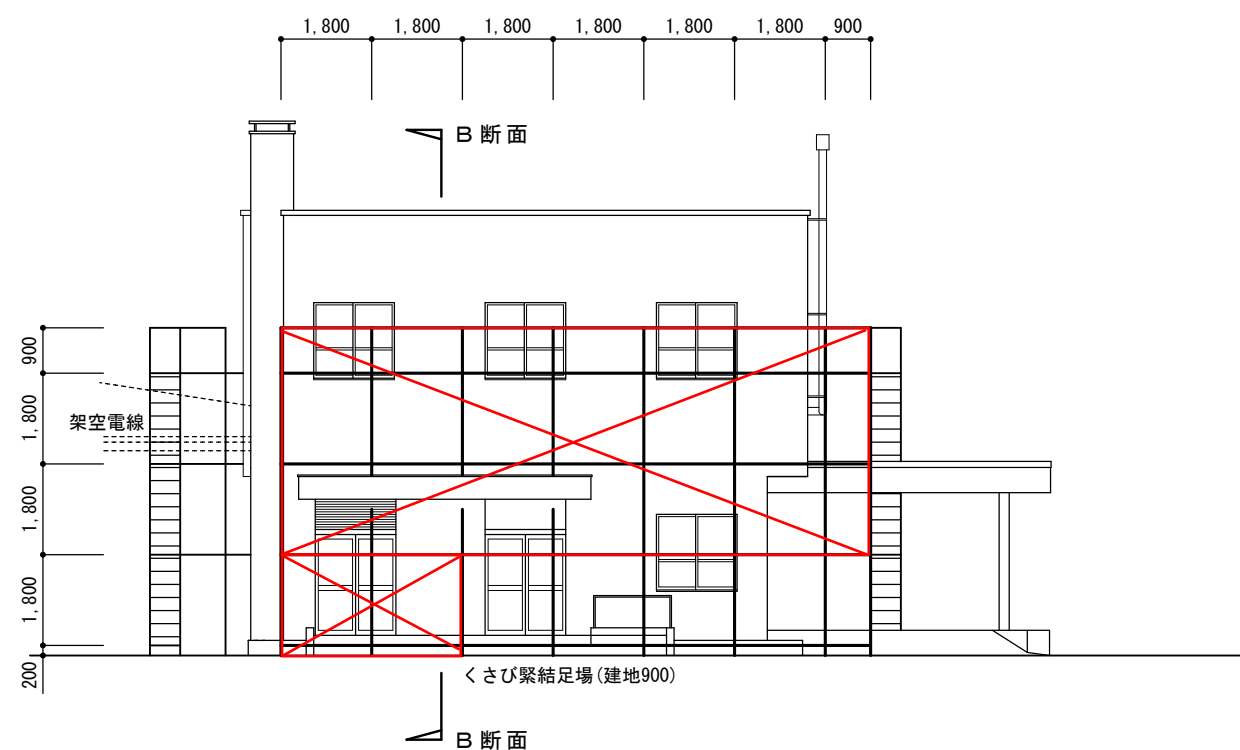


西側立面図

※) 足場全面に垂直養生シート張り



B断面



南側立面図

※) 足場全面に垂直養生シート張り

訂正	工事名	長野県上田市住吉55-2 1級建築士事務所 長野県知事登録 (上田) M-28311号 1級建築士 大臣登録第134987号 品田 和久 印 本 社 TEL 0268-22-8700(代) FAX 0268-27-5382 佐久営業所 TEL 0267-67-2987(代) FAX 0267-68-0660	検 印	設 計	月 日	縮 尺	整理番号	図面番号	図 名
	南 信 森 林 管 理 署 庁 舎 外 部 建 具 改 修 工 事				2021.12.16	1 150	21-020	23	仮 設 立 面 図 2